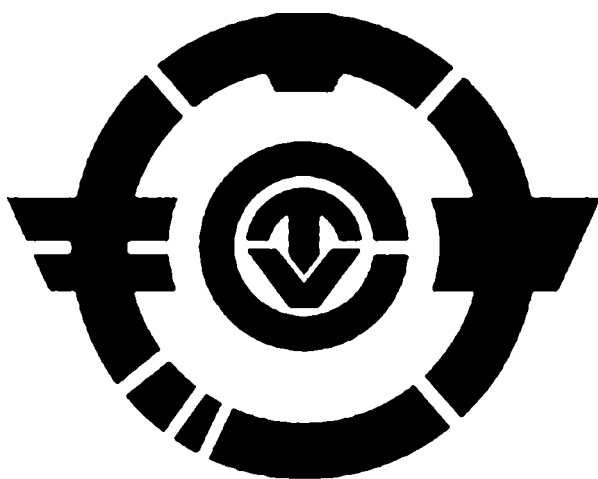


消防年報

2014



稻敷地方広域市町村圏事務組合

消 防 本 部

はじめに

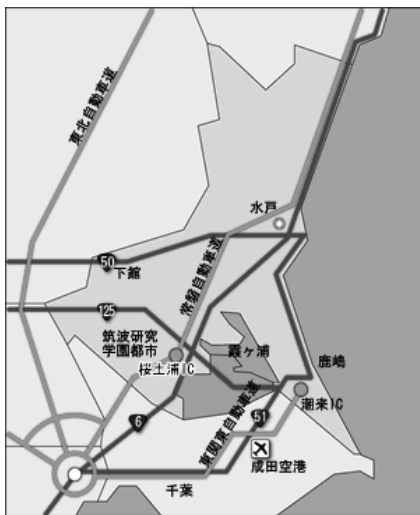
この年報は、稲敷広域消防の現勢及び平成 25 年中の消防業務に関する諸般の事項を集録し、消防事情を紹介するために編集しました。

また、本書における統計については、暦年を原則として作成したのですが、これらによらないものについては、それぞれ記載した年月日及び期間により作成いたしました。

平成 26 年 7 月

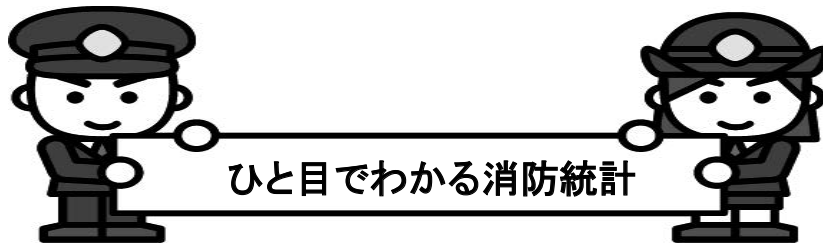
稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部

圏域の位置




表紙説明

「組合章」で、円形はイナシキの円満団結を示し、中心にはC、T、V（市、町、村）を配し、左右の翼は、より一層の飛躍、発展を祈念しています。



ひと目でわかる消防統計

面積 (26.4.1)



478.33Km²
構成 3市2町1村

人口 (26.4.1)




249,241人

世帯数 (26.4.1)



94,819世帯

署所数 (26.4.1)




消防本部 1
消防署 4
分署 2
出張所 3

職員数 (26.4.1)



定員 335人
実員 331人

119番通報(25年)



15,422件

消防車 (26.4.1)




水槽付ポンプ車 11台
普通ポンプ車 8台

特殊車両 (26.4.1)



はしご車 2台
化学車 2台
救助工作車 2台

救急車 (26.4.1)




高規格救急車 11台
救急車 3台

火災発生件数(25年)



93件

救急出場件数(25年)



10,653件

救助出動件数(25年)




153件

防火対象物数



5,626棟

危険物施設数



製造所 11施設
貯蔵所 478施設
取扱所 249施設

民間防火組織数



幼年消防クラブ 9
少年消防クラブ 3
婦人消防クラブ 2

目 次

平成 25 年度の主な行事・事業等	1
稲敷広域市町村圏の概要	3
稲敷広域消防の沿革	4
総務関係	
稲敷広域消防の組織	11
消防本部事務分掌	12
消防署事務分掌	14
消防本部・消防署所庁舎一覧表	15
消防職員配置状況	16
消防職員階級別勤続年数	17
消防職員階級別年齢	18
職員教育・研修実施状況	19
組合予算・相互応援協定状況	20
予防関係	
予防広報活動の紹介	21
民間防火組織の活動紹介	22
市町村別危険物施設状況	23
危険物製造所等許可状況	23
危険物規制事務等手数料	23
市町村別防火対象物現況	24
法届出状況	25
条例届出状況	26
中高層建築物	27
建築確認事務状況	28
広報広聴実施状況	29
民間防火組織一覧	30
警防関係	
消防機動力	31
消防車両等の配置状況	33
主な消防器具等	35
消防隊の主な訓練及び講習会等	36
総出場状況	39
所属別火災出場状況	40
救助事故種別出動件数及び活動件数	41
救助事故種別救助人員及び車両搬送人員	41
救助事故種別出動人員及び活動人員	41
救助事故種別発生場所別出動件数	42
救助事故種別発生場所別活動件数	42
救助事故種別発生場所別救助人員	42

救助事故種別出動車両台数	43
救助事故種別活動車両台数	43
救助隊員の訓練実施状況	43
圏域内市町村別消防水利施設設置状況	44

通信関係

通信・指令の業務	45
通信系統	47
通信施設状況	48
119番着信件数・災害出場指令件数	49
無線局一覧表	50
緊急通報システム受信状況	52
気象警報注意報発令調	53
月別風速・気温・湿度・雨量調	54

火災関係

火災原因調査研修会	55
火災統計上の参考事項	56
火災概況	58
市町村別火災概要	59
月別火災種別	60
曜日別火災種別	60
時間帯別火災種別	60
火災種別出火原因	61
過去5年間の火災原因状況	61
過去10年間の火災件数推移	62

救急関係

市町村別救急出場状況	63
月別救急出場状況	63
事故種別年齢区分別搬送状況	64
事故種別傷病程度別搬送状況	64
救急隊員の行った応急処置件数調	65
市町村別救急発生状況推移	66
救急出場件数推移	67
救命講習実施状況	67
救急蘇生の状況	68
ドクターヘリ及びドクターカーの紹介	69
各種救急訓練・事例検討会の紹介	70
救命講習会の紹介	71
稲敷メディカルコントロール協議会の紹介	71

管内消防団関係

管内消防団の状況	72
----------	----

平成 25 年度の主な行事・事業等

4 月

- ◆ 職員 14 名を採用 職員数 334 名となる
- ◆ 第 1 回認知症高齢者グループホーム防火安全対策研修会
- ◆ 稲敷地方危険物安全協会総会

5 月

- ◆ 平成 25 年度第 1 回消防運営委員会
- ◆ 消防職員人事評価研修（前期）
- ◆ 日本防災協会防災講座
- ◆ 三組合水防訓練（取手市）
- ◆ 第 1 回予防研修会（消防設備関係）



三組合水防訓練

6 月

- ◆ 稲敷地方広域市町村圏事務組合水防協議会
- ◆ 茨城県消防救助技術大会
- ◆ 緊急通報システム担当者会議
- ◆ 第 1 回救急隊員研修会



指揮訓練

7 月

- ◆ 霞ヶ浦地区水防訓練
- ◆ 潜水救助訓練（海洋高校）
- ◆ 指揮訓練
- ◆ 救急事例展示・検証会

8 月

- ◆ 第 2 回認知症高齢者グループホーム防火安全対策（実践的訓練）研修会
- ◆ 茨城県幼少年婦人防火大会（小美玉市）
- ◆ 第 2 回予防研修会（危険物関係）
- ◆ JA とりで総合医療センター救急講習会

9 月

- ◆ 平成 25 年度第 2 回消防運営委員会
- ◆ 甲種防火管理者講習会
- ◆ JA とりで総合医療センター事例検討会
- ◆ 茨城県救急医学会
- ◆ 第 2 回救急隊員研修会



救急隊員研修会

10月

- ◆ 救急救助総合訓練（多数傷病者対応訓練）
- ◆ 龍ヶ崎市新型インフルエンザ訓練
- ◆ 県南南部操法大会（稲敷市須賀津地内）



多数傷病者対応訓練

11月

- ◆ 第3回予防研修会（消防用設備講座 消火器・誘導灯）
- ◆ 防火管理者再講習会
- ◆ 秋季火災予防運動（一般家庭防火診断・街頭広報）
- ◆ 消防職員人事評価研修（後期）
- ◆ 平成25年度消防運営委員会行政視察（兵庫県）
- ◆ ブルードラゴンカンファレンス（水戸済生会総合病院）



緊急自動車安全運転講習会

12月

- ◆ 第1回火災原因調査研修会（事例発表）
- ◆ 緊急自動車安全運転講習会
- ◆ 高規格救急車，牛久消防署へ配置
- ◆ 近隣消防本部救助合同訓練会
- ◆ 第3回救急隊員研修会



近隣消防本部救助合同訓練会

1月

- ◆ 指揮車江戸崎署へ配置
- ◆ 水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅰ-A型CAFS装置付）
桜東分署へ配置
- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会
- ◆ 精神科救急研修会（水戸市）
- ◆ 全国救急隊員シンポジウム（北九州）



水槽付消防ポンプ自動車（水Ⅱ型CAFS付）

2月

- ◆ 普通消防ポンプ自動車（CD-1型CAFS装置付）
新河分署へ配置
- ◆ 第4回予防研修会（消防用設備講座 自動火災報知設備等）
- ◆ 震災対応訓練
- ◆ 救急事例検討会
- ◆ 茨城県救急救命士セミナー（取手市）



普通消防ポンプ自動車（CD-I型CAFS付）

3月

- ◆ 第2回火災原因調査研修会（火災調査要領）
- ◆ 春季火災予防運動（一般家庭防火診断・街頭広報）
- ◆ JAとりで総合医療センター事例検討会（稲敷主催）
- ◆ 第4回救急隊員研修会
- ◆ ブルードラゴンカンファレンス（水戸済生会総合病院）



震災対応訓練

稲敷広域市町村圏の概要

本圏域は、都心より東へ50～70 km、茨城県の南端に位置し、JR常磐線沿いの龍ヶ崎市、牛久市と東に位置する稲敷市を中心に3市2町1村によって構成され、人口は、約25万人、総面積は、約480 km²に及んでいます。

圏域北部は、風光明媚な霞ヶ浦に面し、東南部は、釣りの名所である利根川、横利根川に境を接し、西部は、紫峰筑波山を北方に仰ぎ、小貝川、牛久沼で境をなしています。

圏域内総面積のうち、約25%が稲敷台地と呼ばれる標高25m前後の台地で、西部は、JR佐貫駅、JR牛久駅及びJRひたち野うしく駅を玄関口に首都圏のベッドタウンとして都市化の進展と人口が増加し住宅団地等の開発が盛んであるなか、圏央から東部においては、県内有数の穀倉地帯として整備の進んだ水田が広がる一方、近年、首都圏中央連絡自動車道等の建設に伴い、各地に工業団地の開発が行われ、農業中心に経緯してきた様相にも、変化が著しい状況にあります。

こうしたなかで、当組合消防本部は、圏域内約25万の住民のため、安全で豊かな街づくりに、防災の担い手として努力しております。

構成市町村面積・人口・世帯数

平成26年4月1日現在

市町村別	面積 (k m ²)	人口 (人)	世帯数 (戸)
龍ヶ崎市	78.20	78,989	31,198
牛久市	58.88	83,589	33,265
稲敷市	205.78	44,159	14,832
利根町	24.90	16,764	6,274
河内町	44.00	9,424	2,964
美浦村	66.57	16,316	6,286
合計	478.33	249,241	94,819

(人口・世帯数は茨城県企画部統計課調)

稲敷広域消防の沿革

龍ヶ崎市、牛久町、江戸崎町、利根町、東村、河内村、新利根村、美浦村、桜川村の9ヶ市町村は、昭和47年8月15日の広域市町村整備配置要綱により広域市町村圏の指定をうけたので、同要綱に基づいて総合計画を策定し、昭和48年12月17日、茨城県知事より稲敷地方広域市町村圏事務組合の設立を条件付きで許可された。しかし、消防の特殊性を鑑み昭和49年6月10日消防条項を規約に組入れ昭和50年4月1日、消防本部を発足する。

- 昭和50年 4月 1日 1市3町5村をもって稲敷地方広域市町村圏事務組合消防本部を発足し、既設の龍ヶ崎消防署を核として業務を開始する。消防職員37名増員 職員数97名となる。初代消防長 岡田昭守 就任。
- 7月 1日 江戸崎消防署並びに牛久消防署を開設し、3署とした。水槽付消防ポンプ自動車1台購入 江戸崎消防署へ配置した。水槽付消防ポンプ自動車1台、牛久町より移譲を受け、牛久消防署へ配置した。救急自動車2台及び司令車2台購入し、江戸崎、牛久消防署へ各1台配置した。乗用車1台購入、消防本部に配置した。
- 7月 28日 普通消防ポンプ自動車1台購入、江戸崎消防署へ配置した。
- 10月 1日 消防職員1名増員、職員数98名となる。
- 昭和51年 4月 1日 消防職員25名増員、職員数123名となる。
- 4月 2日 先に開設した牛久消防署庁舎、鉄筋コンクリート一部2階建、延面積441.50㎡が完成し移転した。
- 7月 1日 江戸崎消防署東出張所を開設し、3署1出張所とした。消防職員1名増員 職員数124名となる。
- 7月 8日 救急自動車、司令車及び連絡車、各1台購入、江戸崎消防署東出張所、消防本部に配置した。
- 8月 10日 消防長 宮本 衛 となる。
- 8月 30日 水槽付消防ポンプ自動車、普通消防ポンプ自動車各1台購入、牛久消防署、江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 12月 17日 先に開設した江戸崎消防署庁舎、鉄筋コンクリート一部2階建、延面積458.55㎡が完成し移転した。
- 昭和52年 4月 1日 消防職員35名増員、職員数158名となる。
- 7月 1日 龍ヶ崎消防署利根出張所を開設し、3署2出張所とした。水槽付消防ポンプ自動車、救急自動車、司令車各1台購入、龍ヶ崎消防署利根出張所に配置した。
- 12月 6日 先に開設した江戸崎消防署東出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積290.00㎡が完成し移転した。
- 昭和53年 1月 20日 江戸崎消防署美浦出張所を開設、庁舎鉄筋コンクリート平屋建、延面積363.84㎡、3署3出張所とした。
- 4月 1日 消防職員20名増員、職員数178名となる。

- 7月 1日 龍ヶ崎消防署新利根出張所及び江戸崎消防署桜川出張所を開設し、3署5出張所とした。消防職員7名増員、職員数185名となる。
水槽付ポンプ自動車、連絡車各2台購入、龍ヶ崎消防署新利根出張所及び江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 10月 20日 18m梯子付消防ポンプ自動車を購入、江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 昭和54年 1月 1日 消防職員1名増員、職員数186名となる。
1月 25日 先に開設した龍ヶ崎消防署利根出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積284.08㎡が完成し移転した。
2月 16日 日本自動車工業会より救急自動車1台寄贈、龍ヶ崎消防署新利根出張所に配置した。
4月 1日 消防職員17名増員、職員数203名となる。
7月 1日 龍ヶ崎消防署河内出張所を開設し、3署6出張所とした。水槽付ポンプ自動車、連絡車各1台購入、龍ヶ崎消防署河内出張所及び江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 昭和55年 1月 1日 消防職員2名増員、職員数205名となる。
2月 13日 先に開設した江戸崎消防署桜川出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積289.53㎡が完成し移転した。
2月 29日 先に開設した龍ヶ崎消防署新利根出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積291.91㎡が完成し移転した。
3月 29日 救急自動車1台購入 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
8月 22日 財団法人日本消防協会より救急自動車1台寄贈 牛久消防署に配置した。
- 昭和56年 2月 27日 救急自動車1台購入 龍ヶ崎消防署河内出張所に配置した。
3月 2日 先に開設した龍ヶ崎消防署河内出張所庁舎、鉄筋コンクリート平屋建、延面積305.50㎡が完成し移転した。
3月 27日 消防本部庁舎、鉄筋コンクリート3階建、延面積997.71㎡が完成し移転した。
10月 1日 消防長 仲山 徹となる。
12月 15日 牛久消防署庁舎増築、車庫、仮眠室104.00㎡が完成した。
- 昭和57年 1月 26日 牛久町石油ガス組合連合会、牛久地区危険物安全協会より査察広報車1台寄贈 牛久消防署に配置した。
2月 26日 普通消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
4月 1日 消防職員8名増員 職員数205名となる。
8月 20日 水槽付消防ポンプ自動車、普通消防ポンプ自動車各1台更新 龍ヶ崎消防署及び牛久消防署に配置した。
- 昭和58年 3月 14日 龍ヶ崎消防署河内出張所に救助訓練塔A、B、C塔が完成した。
10月 1日 消防長事務取扱 宮本 衛となる。
12月 19日 化学消防ポンプ付自動車1台を購入 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 昭和59年 3月 30日 茨城県防災行政無線が消防本部に設置される。
8月 15日 消防長事務取扱 岡田昭守となる。
11月 30日 日本中央競馬会より司令車1台寄贈 江戸崎消防署に配置した。
12月 26日 水槽付ポンプ自動車を購入 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 昭和60年 3月 1日 救急指令装置、地図検索装置を設置、通信指令室を開設した。

- 4月 1日 消防本部の組織規則の一部を改正し消防本部の機構を3課10係とした。
- 9月 18日 ワゴン車1台を購入 消防本部に配置した。連絡車1台購入 消防本部に配置した。
- 10月 11日 国際科学博覧会協会より、普通ポンプ自動車1台寄贈 消防本部に配置した。
- 昭和61年 2月 25日 救急自動車1台購入 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 6月 1日 牛久町が市制を施行し牛久市となり、構成市町村は2市2町5村となる。
- 11月 6日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 牛久消防署に配置した。
- 12月 20日 日本中央競馬会よりワゴン車1台寄贈 江戸崎消防署に配置した。
- 昭和62年 4月 1日 消防職員27名増員 職員数225名となる。龍ヶ崎消防署利根出張所を昇格し、利根消防署として開設。職員数17名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台を配置した。龍ヶ崎消防署西部出張所を開設。職員数11名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台を配置した。牛久消防署西部出張所を開設。職員数11名を配置し、水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、連絡車1台を配置した。
- 5月 29日 司令車1台更新 牛久消防署に配置した。
連絡車1台購入 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 6月 5日 乗用車1台更新 消防本部に配置した。
- 9月 28日 救急自動車1台更新 江戸崎消防署に配置した。
- 10月 31日 水槽付消防ポンプ自動車2台更新 龍ヶ崎消防署西部出張所及び牛久消防署西部出張所に配置した。
- 昭和63年 1月 28日 日本損害保険協会より救急自動車1台寄贈 牛久消防署に配置した。
- 1月 31日 利根消防署署長室、車庫65.2㎡を増築完成した。
- 6月 13日 財団法人日本防火協会よりワゴン車1台寄贈 消防本部に配置した。
- 7月 26日 財団法人日本消防協会より電源照明車1台寄贈 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 10月 13日 日本中央競馬会よりマイクロバス1台寄贈 江戸崎消防署に配置した。
- 平成 元年 6月 29日 資機材搬送車1台購入し消防本部に配置した。司令車1台購入し利根消防署に配置した。連絡車1台更新 江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 10月 20日 救助工作車1台購入 龍ヶ崎消防署に配置した。
電源照明車1台を龍ヶ崎消防署より配置換え 牛久消防署に配置した。
- 12月 25日 救急自動車1台更新 江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 平成 2年 2月 26日 水難救助用ジェットスキー2艇購入 龍ヶ崎消防署及び江戸崎消防署に配置した。
- 11月 30日 日本損害協会より救急自動車1台寄贈 江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 12月 26日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 江戸崎消防署に配置した。
- 平成 3年 1月 24日 予備車1台購入 消防本部に配置した。
- 2月 18日 救急自動車1台更新 利根消防署に配置した。
- 3月 29日 連絡車2台更新 江戸崎消防署桜川出張所及び龍ヶ崎消防署新利根出張所に配置した。
- 4月 1日 消防職員18名増員 職員数235名となる。
- 5月 10日 水難救助艇1艇を購入 利根消防署に配置した。
- 11月 25日 普通ポンプ自動車1台更新 牛久消防署に配置した。

- 12月12日 通信指令装置及び車両に消防用無線全国共通波を整備した。
- 12月26日 救急自動車4台に心電図伝送装置及び自動車電話を整備した。
- 平成4年 1月29日 山之内製薬株式会社より救急自動車1台寄贈 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 2月12日 救急自動車1台更新 龍ヶ崎消防署新利根出張所に配置した。
- 4月1日 消防職員14名増員 職員数248名となる。
- 5月30日 消防長事務取扱 内藤謙吉となる。
- 8月6日 消防長事務取扱 海老原龍生となる。
- 12月15日 救急自動車7台に心電図伝送装置を配備した。
- 平成5年 3月29日 司令車1台更新 江戸崎消防署に配置した。
- 4月1日 消防長 海老原淳二となる。
- 6月25日 連絡車1台更新 龍ヶ崎消防署河内出張所に配置した。
- 10月5日 普通ポンプ自動車1台更新 江戸崎消防署に配置した。
- 12月14日 救急自動車1台更新 牛久消防署西部出張所に配置した。
- 平成6年 4月1日 消防職員13名増員 職員数259名となる。
- 5月30日 連絡車1台更新 消防本部に配置した。
- 6月24日 司令車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。連絡車1台更新 江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 10月14日 普通消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 11月22日 40m梯子付消防自動車1台購入 牛久消防署に配置した。小型救助艇(ジェット推進式)を江戸崎消防署桜川出張所(桜川村和田地区へ格納)へ配置した。
- 12月12日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 平成7年 2月28日 救急自動車1台更新 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 4月1日 消防本部の組織規則を一部改正し、本部の機構を5課13係とした。また、消防署の組織規程を全部改正した。
- 消防職員15名増員 職員数273名となる。
- 8月23日 八鉦グループ(八鉦石油株式会社, 八鉦運輸株式会社, 八鉦電子株式会社)より、連絡車1台寄贈 牛久消防署西部出張所に配置した。
- 9月5日 消火隊3隊を含む計6隊が緊急消防援助隊として登録された。
- 10月6日 消防本部20周年記念式典開催
- 稲敷地方危険物安全協会より予防広報車1台寄贈 消防本部に配置した。
- 平成8年 3月18日 救急自動車1台更新 龍ヶ崎消防署河内出張所に配置した。
- 3月28日 水槽付消防ポンプ自動車2台更新 利根消防署及び江戸崎消防署美浦出張所に配置した。連絡車1台更新 消防本部に配置した。
- 4月1日 消防職員16名増員 職員数287名となる。
- 6月1日 河内村及び新利根村が町制を施行し河内町, 新利根町となり, 構成市町村は, 2市4町3村となる。
- 9月1日 東村が町制を施行し東町となり, 構成市町村は, 2市5町2村となる。
- 11月7日 20m梯子付消防自動車1台更新 江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 11月27日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署新利根出張所に配置した。
- 平成9年 3月14日 連絡車1台更新 消防本部に配置した。

- 3月26日 救急自動車1台更新（高規格救急車とする） 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 4月1日 消防職員16名増員 職員数299名となる。
- 8月4日 龍ヶ崎市より救助ボート2艇移譲 龍ヶ崎消防署西部出張所及び江戸崎消防署東出張所に配置した。
- 9月30日 日本中央競馬会より査察車1台寄贈 江戸崎消防署に配置した。
- 12月3日 化学消防ポンプ自動車（IV型）1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 12月5日 普通消防ポンプ自動車1台更新 利根消防署に配置した。
- 12月12日 水槽付消防ポンプ自動車2台更新 龍ヶ崎消防署河内出張所及び江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 平成10年 4月1日 消防職員11名増員 職員数309名となる。
- 12月17日 救急自動車1台更新（2B） 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 平成11年 1月12日 連絡車1台更新 消防本部に配置した。
- 1月18日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 1月19日 普通消防ポンプ自動車1台更新 牛久消防署に配置した。
- 1月20日 救急自動車1台更新（高規格救急車とする） 牛久消防署に配置した。
- 2月16日 救助工作車1台購入 江戸崎消防署に配置した。
- 2月23日 連絡車1台更新 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 3月23日 江戸崎消防署庁舎増築 2階建 406.07㎡が完成した。
- 3月31日 連絡車1台更新 消防本部に配置した。
- 4月1日 消防長 松本育之となる。消防職員12名増員 職員数318名となる。
- 平成12年 1月18日 水槽付消防ポンプ自動車1台及び普通ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 2月23日 救急自動車1台更新（高規格救急車とする） 江戸崎消防署に配置した。
- 4月1日 消防職員6名増員 職員数321名となる。
- 8月25日 司令車1台更新 牛久消防署に配置した。
- 9月21日 指揮隊車1台更新 消防本部に配置した。
- 平成13年 4月1日 消防長 関口忠夫となる。消防職員7名増員 職員数322名となる。
- 6月21日 連絡車1台更新 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 11月9日 救急自動車2台更新（2B）江戸崎消防署東出張所及び江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 平成14年 4月1日 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を4課11係とした。消防職員2名増員 職員数320名となる。
- 平成15年 4月1日 消防長 酒井保之となる。
- 8月29日 連絡車1台更新 江戸崎消防署美浦出張所に配置した。
- 9月1日 司令車1台更新 利根消防署に配置した。
- 9月30日 稲敷地方危険物安全協会より予防広報車1台寄贈 消防本部に配置した。
- 10月29日 水難救助艇1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 12月18日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 牛久消防署に配置した。
- 平成16年 1月19日 救急自動車1台更新（高規格救急車とする） 利根消防署に配置した。
- 4月1日 消防長 長田保一となる。消防本部の組織に関する規則の一部を改正し、消防本部の機構を5課10係とした。消防署の組織に関する規程の一部を改正し、

- 消防署の機構を3課とした。消防職員4名増員 職員数317名となる。
- 平成17年 3月22日 江戸崎町, 東町, 新利根町, 桜川村の4町村合併により稲敷市誕生。
- 4月1日 消防職員5名増員 職員数322名となる。
- 7月1日 消防署の組織に関する規程の一部を改正し, 消防署の機構を4課とした。
- 平成18年 3月15日 龍ヶ崎消防署新庁舎, 鉄骨造2階建, 延面積1967.64㎡が完成し移転した。消防本部通信指令課に高機能通信指令装置が更新となる。
- 4月1日 消防長 川崎榮一となる。
- 5月19日 栗山繁氏(前牛久消防署長)より連絡車1台寄贈 牛久消防署に配置した。
- 6月2日 株式会社盤石より龍ヶ崎消防署にカエル石像が寄贈された。
- 7月11日 龍ヶ崎地区危険物安全協会より軽自動車1台寄贈 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 平成19年 2月21日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 牛久消防署西部出張所に配置した。
- 2月15日 高規格救急自動車1台更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 3月14日 社団法人日本損害保険協会より高規格救急自動車1台寄贈 牛久消防署西部出張所に配置した。
- 7月6日 資機材搬送車1台更新 消防本部に配置した。
- 7月24日 水難救助艇1台更新 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 平成20年 1月9日 連絡車1台更新 江戸崎消防署新利根出張所に配置した。
- 1月22日 水槽付消防ポンプ自動車1台更新 龍ヶ崎西部出張所に配置した。
- 4月1日 消防長 仲山松男となる。
- 消防職員11名増員 職員数322名となる。
- 9月16日 水難救助ボートを牛久消防署へ配置した。
- 平成21年 1月15日 高規格救急自動車1台を更新 江戸崎消防署桜川出張所に配置した。
- 2月10日 消防ポンプ自動車を1台更新 牛久消防署へ配置した。
- 2月10日 水槽付消防ポンプ自動車を更新 江戸崎消防署へ配置した。
- 4月1日 救急自動車を江戸崎消防署桜川出張所より配置替え 牛久消防署へ配置した。
- 4月1日 牛久消防署東部出張所新庁舎を開設 鉄骨平屋建て, 延床面積575.0㎡, 職員16名を配置した。同西部出張所を閉庁する。
- 消防長 川井 寛となる。
- 消防職員11名を採用 職員数327名となる。
- 平成22年 2月18日 高規格救急自動車1台を更新 龍ヶ崎消防署河内出張所に配置した。
- 2月24日 救助工作車1台(Ⅲ型)を更新 龍ヶ崎消防署に配置した。
- 3月27日 高規格救急自動車1台を更新 牛久消防署に配置した。
- 4月1日 消防長 本谷正一となる。
- 消防本部の組織に関する規則の一部を改正し, 消防本部の機構を5課11係とした。
- 消防職員8名を採用 職員数329名となる。
- 江戸崎消防署桜東分署を開設 鉄骨平屋建て, 延床面積650.5㎡, 職員25名水槽付消防ポンプ自動車2台, 高規格救急自動車1台, 連絡車1台を配置した。江戸崎消防署東出張所, 同桜川出張所を閉庁する。
- 7月1日 高度救助隊(スーパーレスキュー稲敷)発足, 隊員14名を龍ヶ崎消防署に配置した。

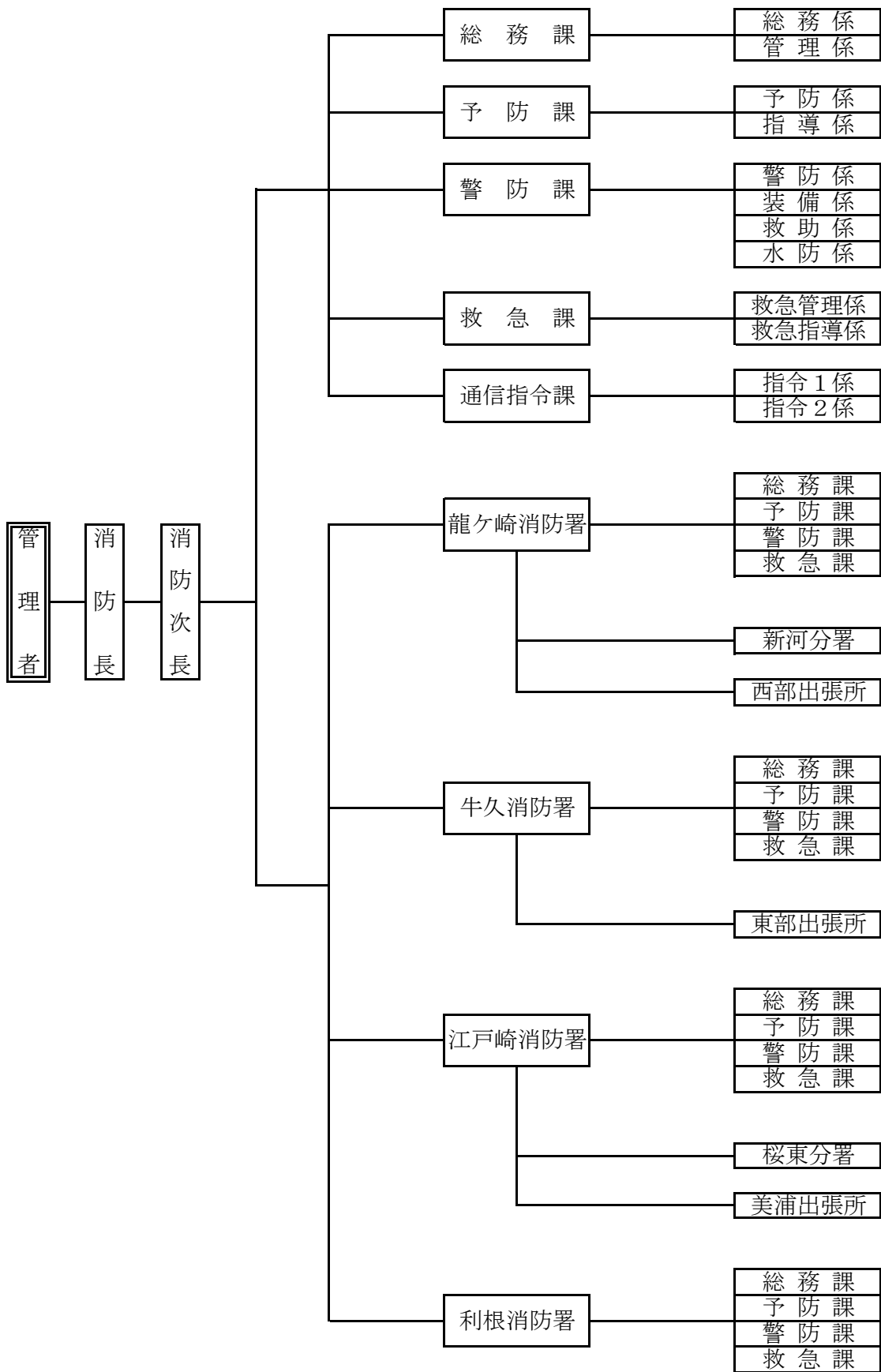
- 平成 23 年 1 月 13 日 牛久消防署庁舎増築，仮眠室 266.69 m²が完成した。
- 1 月 21 日 消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 江戸崎消防署へ配置した。
- 1 月 27 日 消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 江戸崎消防署桜東分署へ配置した。
高規格救急自動車 1 台を更新 龍ヶ崎消防署西部出張所に配置した。
- 4 月 1 日 消防職員 9 名を採用 職員数 332 名となる。
- 平成 24 年 2 月 2 日 消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 龍ヶ崎消防署へ配置した。
- 2 月 20 日 化学消防ポンプ自動車（Ⅲ型）を 1 台購入した。
- 4 月 1 日 消防職員 11 名を採用 職員数 333 名となる。
龍ヶ崎消防署新河分署を開設 鉄骨 2 階建て，延床面積 7 1 9.7 9 m²，職員 25 名，化学消防ポンプ自動車 1 台，水槽付消防ポンプ自動車 2 台，高規格救急自動車 1 台，連絡車 1 台を配置する。
龍ヶ崎消防署河内出張所，江戸崎消防署新利根出張所を閉庁する。
- 10 月 29 日 資器材搬送車 1 台購入を龍ヶ崎消防署に配置，同署に配置していた資機材搬送車 1 台を江戸崎消防署桜東分署へ配置した。
- 12 月 17 日 高規格救急自動車 1 台を更新 江戸崎消防署に配置した。
- 平成 25 年 1 月 17 日 水槽付消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 利根消防署へ配置した。
- 4 月 1 日 消防長 酒井健生となる。
消防本部の組織に関する規則の一部を改正し，消防本部の機構を 5 課 12 係とした。
消防職員 14 名を採用 職員数 334 名となる。
- 8 月 23 日 水難救助ボート（FRP 製）を 1 艇更新 利根消防署に配置した。
- 12 月 3 日 高規格救急自動車 1 台を更新 牛久消防署に配置した。
- 平成 26 年 1 月 14 日 指揮車 1 台を更新 江戸崎消防署に配置した。
- 1 月 20 日 水槽付消防ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 江戸崎消防署桜東分署に配置した。
- 2 月 12 日 普通ポンプ自動車（圧縮空気泡消火装置搭載）を 1 台更新 龍ヶ崎消防署新河分署に配置した。
- 4 月 1 日 消防職員 16 名を採用 職員数 331 名となる。

総務



● 産業医健康講話

稲敷広域消防の組織



消防本部事務分掌

総務課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の昇任、昇格に関する事。
- (4) 消防関係例規に関する事。
- (5) 消防施設の整備及び管理に関する事。
- (6) 職員の健康管理及び福利厚生に関する事。
- (7) 職員の任免、配置、服務、分限、懲戒、表彰その他人事に関する事。
- (8) 職員の給与、公務災害補償及び補償補填に関する事。
- (9) 研修計画及び管外消防との情報連絡に関する事。
- (10) 貸与品及び消耗品等に関する事。
- (11) 予算、決算及び経理に関する事。
- (12) 消防事務の企画及び事務管理に関する事。
- (13) 消防用財産の管理に関する事。
- (14) 組織及び制度に関する事。
- (15) 他の課に属さない事。

予防課

- (1) 火災の予防に関する事。
- (2) 民間防火組織等の育成及び防火思想の普及に関する事。
- (3) 予防査察及び指導に関する事。
- (4) 広報及び広聴に関する事。
- (5) 罹災証明等に関する事。
- (6) 統計に関する事。
- (7) 防火管理者及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 火災原因及び損害の調査に関する事。
- (9) 建築確認等の同意に関する事。
- (10) 消防用設備等の検査及び指導に関する事。
- (11) 消防対象物（危険物製造所等を除く）の使用の届出等に関する事。
- (12) 火災予防条例に基づく届出等に関する事。
- (13) 火気使用設備及び器具に関する事。
- (14) 危険物製造所等の許認可に関する事。
- (15) 危険物製造所等の火災予防措置に関する事。
- (16) 少量危険物、指定可燃物等の火災予防措置に関する事。
- (17) 液化石油ガス貯蔵取扱施設の保安上の措置に関する事。
- (18) 圧縮アセチレンガス等の届出に関する事。
- (19) 防火協力団体に関する事。

警 防 課

- (1) 警防計画及び演習，訓練に関する事。
- (2) 核燃料物質及び放射性同位元素，劇物，毒物等の貯蔵取扱の届出に関する事。
- (3) 消防の相互応援に関する事。
- (4) 水火災その他災害出動及び連絡調整に関する事。
- (5) 水火災その他災害等による被害調査等に関する事。
- (6) 消防技術の研究及び指導に関する事。
- (7) 消防の教養，訓練等に関する事。
- (8) 地理水利の調査及び保守に関する事。
- (9) 都市計画等の消防施設設置に関する事。
- (10) 車両の安全運転管理及び交通事故に関する事。
- (11) 消防機械器具の整備及び管理に関する事。
- (12) 消防油脂類，消火薬剤の管理に関する事。
- (13) 消防用資機材等に関する事。
- (14) 救助業務に関する事。
- (15) 特別救助隊に関する事。
- (16) 救助統計に関する事。
- (17) 水防事務に関する事。
- (18) 稲敷地方広域市町村圏事務組合水防計画及び訓練に関する事。
- (19) 稲敷地方広域市町村圏事務組合水防協議会に関する事。

救 急 課

- (1) 救急業務に係る調査及び研究に関する事。
- (2) 救急資器材，医薬品等の整備及び管理に関する事。
- (3) 救急車両の配備，維持管理等に関する事。
- (4) 救急活動技術の研究及び指導訓練に関する事。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (6) 救急処置等の教育普及に関する事。
- (7) 救急統計に関する事。
- (8) その他救急業務に関する事。

通 信 指 令 課

- (1) 消防緊急システムの企画，調整及び運営管理に関する事。
- (2) 通信技術の研究及び指導に関する事。
- (3) 出動指令に関する事。
- (4) 通信統制に関する事。
- (5) 各種災害関係情報の収集及び伝達に関する事。
- (6) 消防及び救急の相互応援指令に関する事。
- (7) 防災行政無線に関する事。
- (8) 緊急通報システムに関する事。
- (9) その他通信指令事務に関する事。

消防署事務分掌

総務課

- (1) 公印の管守に関する事。
- (2) 文書に関する事。
- (3) 職員の研修及び訓練に関する事。
- (4) 職員の福利厚生及び健康管理に関する事。
- (5) 職員の服務、規律、願及び届に関する事。
- (6) 経理に関する事。

予防課

- (1) 火災予防思想の普及に関する事。
- (2) 予防査察及び指導に関する事。
- (3) 建築確認等の同意及び消防用設備等の検査に関する事。
- (4) 危険物、少量危険物、指定可燃物等の規制及び当該施設の査察に関する事。
- (5) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (6) 火災の統計及び報告に関する事。
- (7) 防火管理者、消防設備士及び危険物取扱者に関する事。
- (8) 消防諸証明に関する事。
- (9) 防火協力団体に関する事。

警防課

- (1) 火災その他の災害の警戒及び防ぎょ活動(以下「消防活動」という。)に関する事。
- (2) 警防活動技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 消防活動上支障となる物質等の調査及び防災指導に関する事。
- (4) 救急活動との連携に関する事。
- (5) 地理及び水利の調査に関する事。
- (6) 消防車両、機械器具、装備、資材等の点検整備及び保全に関する事。
- (7) 救助活動に関する事。
- (8) 救助技術の研修及び訓練に関する事。
- (9) 救助統計に関する事。
- (10) 消防団との連携に関する事。
- (11) 他の関係機関との連絡調整に関する事。

救急課

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急技術等の研修及び訓練に関する事。
- (3) 警防活動との連携に関する事。
- (4) 救急統計に関する事。
- (5) 医療機関その他関係機関との連絡調整に関する事。
- (6) 救急車両、資機材、医薬品等の点検管理に関する事。

消防本部・消防署所庁舎一覧表

区分 名称	所在地	建物構造	建物面積	竣工年月日
消防本部	龍ヶ崎市 3,571番地の1	鉄筋コンクリート造 3階建	庁舎 970.21 m ² 倉庫 67.16 m ²	昭和56年3月27日 平成19年2月増築
龍ヶ崎消防署	龍ヶ崎市 1,759番地	鉄骨造 2階建	庁舎 1,967.64 m ²	平成18年3月15日
牛久消防署	牛久市栄町 4丁目1番地	鉄筋コンクリート造 2階建	庁舎 812.19 m ² ポンプ室 8.25 m ² 油庫 6.51 m ²	昭和51年4月2日 昭和56年12月増築 平成23年1月増築
江戸崎消防署	稲敷市江戸崎 乙472番地	鉄筋コンクリート造 2階建	庁舎 864.62 m ² 倉庫 16.07 m ² 倉庫 9.30 m ²	昭和51年12月17日 平成11年3月増築
利根消防署	利根町布川 2,073番地	鉄筋コンクリート造 平家建	庁舎 303.40 m ² 車庫 40.00 m ² 倉庫 29.43 m ²	昭和54年1月25日 昭和63年1月増築 平成10年3月増築
龍ヶ崎消防署 新河分署	河内町長竿 5,765番	鉄骨造 2階建	庁舎 719.79 m ² 倉庫 138.00 m ²	平成24年3月24日
江戸崎消防署 桜東分署	稲敷市上須田 355番1	鉄骨造 平家建	庁舎 650.50 m ² 倉庫 100.00 m ²	平成22年2月11日
龍ヶ崎消防署 西部出張所	龍ヶ崎市馴柴町 1区23番地の2	鉄筋コンクリート造 平家建	庁舎 319.75 m ²	昭和62年3月12日
牛久消防署 東部出張所	牛久市久野町 798番地1	鉄骨造 平家建	庁舎 575.00 m ²	平成21年3月29日
江戸崎消防署 美浦出張所	美浦村信太 2,618番地の1	鉄筋コンクリート造 平家建	庁舎 329.34 m ² 倉庫 34.50 m ²	昭和53年1月26日

消 防 職 員 配 置 状 況

平成26年4月1日現在

階級 所属		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
		消 防 本 部	消 防 長	1							
	消 防 次 長		1								1
	総 務 課		1		2		2			1	6
	予 防 課			2		2	2				6
	警 防 課		1	1	2	1					5
	救 急 課			2	1						3
	通 信 指 令 課			1	7	8					16
	小 計	1	3	6	12	11	4			1	38
龍ヶ崎消防署			※ 1	2	11	9	13	12	13		61
	新河分署			1	4	6	4	5	5		25
	西部出張所				3	5	4	6	2		20
	小 計		1	3	18	20	21	23	20		106
牛久消防署			1	2	10	7	13	14	13		60
	東部出張所				3	4	4	5	2		18
	小 計		1	2	13	11	17	19	15		78
江戸崎消防署			1	2	11	8	4	6	7		39
	桜東分署			1	5	5	3	6	5		25
	美浦出張所			1	2	5	3	5	3		19
	小 計		1	4	18	18	10	17	15		83
利根消防署			1	1	7	4	4	4	5		26
合 計		1	7	16	68	64	56	63	55	1	331

※ 龍ヶ崎消防署 消防監（消防署長）は、消防次長を兼務

消 防 職 員 階 級 別 勤 続 年 数

平成26年4月1日現在

階級 勤続年数	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
1 年未満								16		16
1 年以上								14		14
2 "								11		11
3 "							1	7		8
4 "							5	3		8
5 "							6	3		9
6 "						1	9	1		11
7 "										
8 "										
9 "						3	3			6
10 "							4			4
11 "										
12 "						1	1			2
13 "					1	3	3			7
14 "					1	3				4
15 "						6	4			10
16 "						4	7			11
17 "					1	9	6			16
18 "					11	5				16
19 "					3	3	6			12
20 "					4	4	4			12
21 "										
22 "				1	5	5	2			13
23 "				2	7	7	2			18
24 "										
25 "										
26 "										
27 "				11	12	1				24
28 "										
29 "										
30 "										
31 "										
32 "				5	1					6
33 "										
34 "										
35 "		1		9	6					16
36 "			2	9	1					12
37 "	1		5	11	8	1			1	27
38 "			3	9	2					14
39 "		6	6	11	1					24
40 "										
41 "										
計	1	7	16	68	64	56	63	55	1	331
平均勤続年数	37.0	38.4	37.8	34.4	26.0	17.8	12.4	1.6	37.0	20.6

消 防 職 員 階 級 別 年 齢

平成26年4月1日現在

階級 年 齢	消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他 の 職 員	計
18 歳								5		5
19 歳								1		1
20 歳								3		3
21 歳								4		4
22 歳								7		7
23 歳							1	9		10
24 歳							2	9		11
25 歳							2	6		8
26 歳							4	5		9
27 歳							3	4		7
28 歳							5			5
29 歳							2			2
30 歳							3	1		4
31 歳						1	1	1		3
32 歳						2	1			3
33 歳						5	3			8
34 歳						4	2			6
35 歳						5	4			9
36 歳					2	5	7			14
37 歳					2	5	10			17
38 歳					5	7	4			16
39 歳					1	2	2			5
40 歳				1	8	6	2			17
41 歳					2	5	4			11
42 歳					2	3				5
43 歳					8	1	1			10
44 歳				1	1	2				4
45 歳				3	6	1				10
46 歳				1	6					7
47 歳				2						2
48 歳				1		1				2
49 歳				3	1					4
50 歳				3						3
51 歳				2						2
52 歳					2					2
53 歳		1		2	3					6
54 歳			1	12	2					15
55 歳			4	9	6				1	20
56 歳			4	9	4					17
57 歳		4	6	12	2					24
58 歳		1	1	4	1	1				8
59 歳	1	1		3						5
60 歳										
計	1	7	16	68	64	56	63	55	1	331
平均年齢	59.0	56.9	56.1	53.7	46.0	38.1	33.4	23.3	55.0	40.8

職員教育・研修実施状況

平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日

機 関	区 分	消防士	消 防 副士長	消 防 士 長	消 防 司令補	消 防 司 令	司令長 以 上	合 計
消防大学校	トップマネジメントコース						1	1
	上級幹部科						1	1
	違反是正特別講習					1		1
	警防科					1		1
	救助科			1				1
	NBCコース			1				1
茨城県立 消防学校	初任科	14						14
	特殊災害科			1	1			2
	火災調査科		1	1				2
	救急科	8						8
	救助科		2	1				3
	水難救助課程		1					1
	ポンプ操法指導者研修会			1	1			2
	気管挿管再講習			2	2	1		5
救急救命 研 修 所	救急救命士	2						2
その他 機 関	MCLS 講習				2	1	1	4
	AHA-ACLS 講習	1	1		1			3
	AHA-BLS 講習	3	3		2			8
	ロープレスキュー技能			2				2
	潜水技術研修	1		1				2
	小型移動式クレーン運転技能	3	1					4
	玉掛技能	3	1					4
	小型船舶免許		1	1				2
	車両系建設機械運転技能				2			2
	消防・救急緊急車両運転技術				1			1
	チェーンソー	2	1	1				4
	酸素欠乏危険作業主任者		2	1	1			4
	衛生管理者受験講習				1	1		2
	消防職員安全衛生研修				4			4
	惨事ストレス初級研修					1		1
予防技術検定			4				4	
組合共同 研 修	新採職員研修	14						14
	第 1 部職員研修	7						7
	現任課長研修						2	2
	法制執務研修		1	1	1	1	1	5
	政策法務研修		1	1	1	1	1	5
	窓口サービス向上研修	7						7

組 合 予 算

1 平成26年度稲敷地方広域市町村圏事務組合当初予算額

(単位：千円)

歳 入			歳 出		
		%			%
分賦金及び負担金	3,394,641	71.47	議 会 費	2,875	0.06
使用料及び手数料	6,100	0.13	総 務 費	78,812	1.66
国 庫 支 出 金	28,000	0.59	消 防 費	4,541,841	95.62
財 産 収 入	48	0.00	公 債 費	125,472	2.64
寄 付 金	1	0.00	予 備 費	900	0.02
繰 入 金	80,000	1.69			
繰 越 金	10,000	0.21			
諸 収 入	9,210	0.19			
組 合 債	1,221,900	25.72			
合 計	4,749,900	100.0	合 計	4,749,900	100.0

2 人口・世帯当りの消防費

区 分	消 防 予 算 (千円)	一 人 当 り の 消 防 費 (円)	一 世 帯 当 り の 消 防 費 (円)	備 考	
				人 口	世 帯
平成 22 年度	3,218,254	12,755	35,370	252,308	90,988
平成 23 年度	3,402,744	13,430	36,899	253,367	92,218
平成 24 年度	3,181,383	12,629	34,216	251,920	92,980
平成 25 年度	3,207,076	12,796	34,153	250,630	93,904
平成 26 年度	4,541,841	18,223	47,900	249,241	94,819

相 互 応 援 協 定 状 況

締 結 先		締 結 年 月 日
茨 城 県	取 手 市 消 防 本 部	昭 和 5 7 年 7 月 6 日
	つ く ば 市 消 防 本 部	昭 和 5 8 年 9 月 2 6 日
	茨 城 県 広 域	平 成 元 年 4 月 1 日
	茨城県高速自動車道等関係消防本部	平 成 1 9 年 3 月 1 0 日
千 葉 県	香取広域市町村圏事務組合消防本部	昭 和 5 6 年 1 1 月 1 日
	我 孫 子 市 消 防 本 部	昭 和 5 7 年 1 月 1 日
	栄 町 消 防 本 部	平 成 1 8 年 3 月 6 日
	成 田 市 消 防 本 部	平 成 2 1 年 1 0 月 3 0 日

予 防



● 小規模社会福祉施設安全対策（実践的訓練）研修会

予防広報活動の紹介

予防課では、住民の生命や財産を火災や自然災害から守る為、店舗や病院、事業所への防火査察、避難訓練指導などの業務のほか、以下のような取組みを行い、火災による死傷者の低減、住宅火災の減少に努めています。

【小規模社会福祉施設防火安全対策研修会】



長崎県で発生した認知症対応型グループホームでの火災を踏まえ、管内の類似 23 施設を対象とした研修会を平成 25 年 4 月、8 月の 2 回にわたり開催しました。消防庁舎をグループホームに想定して行った夜間宿直体制における実践訓練では、施設職員 1 名が想定時間内で施設入居者 9 名の避難を完了させ、研修の成果を発揮しました。

【住宅防火対策推進活動】



一般財団法人全国消防機器会が実施する「住宅用火災警報器等の配布モデル事業」に河内町をモデル地区として申請し、同協会より、住宅用火災警報器 100 個及び住宅用消火器 25 本が寄贈されました。寄贈された機器は、河内町消防団のご協力により、町内の高齢者世帯に設置されました。

【職員研修】










職員の知識向上、人材育成を目的とした研修会を開催しています。

昨年度は、予防業務に関する研修会を 4 回開催し研修施設の見学や各種消防設備について予防技術に精通した職員が講師となり、講習を行いました。

民間防火組織の活動紹介

当消防本部管内には、幼年消防クラブ 9 団体、少年消防クラブ 3 団体、婦人防火クラブ 2 団体が組織されています。幼年・少年消防クラブは火災予防運動期間中に消防職員と街頭広報活動を行い地域に貢献するとともに、このような活動を通して幼少期からの防火思想の育成に取り組んでいます。また、婦人防火クラブは、住宅用火災警報器の設置促進活動や応急手当技術の習得に積極的に取り組んでいます。

●主な行事内容

平成 25 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> 各幼年消防クラブ任命式   
5 月	<ul style="list-style-type: none"> 防災講座（婦人防火クラブ員対象） <p>公益財団法人日本防火協会から講師をお招きして、防災物品についての講習を実施しました。</p>  
8 月	<ul style="list-style-type: none"> 第 28 回茨城県幼少年婦人防火大会 <p>小美玉市小川文化センターにおいて開催された防火大会に各団体の代表者が参加し、以下のとおり各部門で日頃の活動に対しての表彰がありました。</p> <p>優良民間防火組織クラブ員表彰（龍ヶ崎市婦人防火クラブ員 1 名）</p> <p>優良民間防火組織クラブ指導者表彰（利根大和幼稚園職員 1 名）</p> <p>優良民間防火組織表彰（龍ヶ崎市つばめ保育園幼年消防隊）</p> <ul style="list-style-type: none"> 龍ヶ崎市防災フェア 2013 <p>龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による住宅用火災警報器設置促進広報実施。</p>
10 月	<ul style="list-style-type: none"> 茨城県婦人防火クラブ連絡協議会指導者研修会（救命講習会） 龍ヶ崎市ふれあい広場 2013 <p>龍ヶ崎市婦人防火クラブ員による住宅用火災警報器設置促進広報実施。</p>
11 月 平成 26 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> 秋季火災予防運動（11 月 9 日～15 日） 春季火災予防運動（3 月 1 日～7 日） <p>一般家庭防火診断（婦人防火クラブ員）</p> <p>街頭広報（幼年消防隊、少年消防クラブ、幼年消防隊）</p>  

市町村別危険物施設状況

平成26年3月31日現在

施設別 市町村別	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
龍ヶ崎市	6	36	36	1	40		29	4	38	34	224
牛久市	1	33	15		22		21	3	31	15	141
稲敷市	3	36	45	2	53	4	20	12	50	27	252
利根町		1			5		9		8	6	29
河内町		3	4		5		4	1	9	9	35
美浦村	1	10	5	3	10		6		13	9	57
合 計	11	119	105	6	135	4	89	20	149	100	738

危険物製造所等許可状況

平成25年4月1日～平成26年3月31日

施設別 区分	製 造 所	屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タン ク 貯 蔵 所	屋 内 タン ク 貯 蔵 所	地 下 タン ク 貯 蔵 所	簡 易 タン ク 貯 蔵 所	移 動 タン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	合 計
設置許可	1	1	3		1		1		1		8
変更許可	9	1	2		5		8		32	17	74
完成検査	9	2	5		6		9		39	16	86
合 計	19	4	10		12		18		72	33	168

危険物規制事務手数料

平成25年4月1日～平成26年3月31日

合 計	設置許可 手数料	変更許可 手数料	完成検査 手数料	タンク水圧 (水張) 手数料	仮使用手数料	仮貯蔵手数料	仮取扱手数料
3,470	274	1,769	1,003	95	302	11	16

(単位：千円)

市町村別防火対象物現況

平成26年3月31日現在

防火対象物の区分 (令別表第一)		市町村別							合 計
		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	利 根 町	河 内 町	美 浦 村		
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	2		3			1	6
	ロ	公会堂又は集会場	33	41	37	8	8	17	144
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの			1				1
	ロ	遊技場又はダンスホール	7	8	8		1	1	25
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等							
	ニ	カラオケボックス等	2	3					5
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの	4						4
	ロ	飲食店	61	48	29	1	1		140
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	101	119	55	12	6	5	298
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	9	5	14			3	31
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	639	531	39	9	5	79	1,302
6	イ	病院、診療所又は助産所	36	32	20	5		4	97
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等	21	25	7	8	4	8	73
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等、児童福祉施設等	30	28	22	7	4	8	99
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校	8	12	6	3		9	38
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	89	61	59	19	11	10	249
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの	2	3	1	2		1	9
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場	2	2	2				6
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場							
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場(旅客用に限る)	1	1					2
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	15	19	7	7		1	49
12	イ	工場又は作業場	226	139	332	33	62	61	853
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫又は駐車場	15	12	25	1	4	13	70
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	3						3
14		倉庫	164	100	260	21	67	79	691
15		前各項に該当しない事業場	238	226	233	27	61	218	1,003
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	106	99	32	7	5	7	256
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	46	73	27	1	3	11	161
17		重要文化財、重要有形民族文化財等	2	2	4	3			11
合 計			1,862	1,589	1,223	174	242	536	5,626

法 届 出 状 況

市町村別 届出種別		龍	牛	稲	利	河	美	合
		ヶ	久	敷	根	内	浦	計
		崎	市	市	町	町	村	
		市						
消 防 用 設 備 等 着 工 届		49	36	36	2	4		127
消 防 用 設 備 等 設 置 届		131	184	92	10	11		428
消 防 用 設 備 等 特 例 申 請 書								
消 防 用 設 備 等 点 検 報 告 書		494	472	402	71	87	68	1,594
防 火 管 理 者 選 任 (解 任) 届		112	109	53	5	21	17	317
防 災 管 理 者 選 任 (解 任) 届		3	8	2				13
消 防 計 画 書 届		113	146	78	12	28	24	401
防 災 管 理 に 係 る 消 防 計 画 書		1	6					7
自 衛 消 防 組 織 設 置 届 (変 更)			1	1				2
圧 縮 ア セ チ レ ン 貯 蔵 取 扱		2	3	5	1		6	17
無 水 硫 酸 貯 蔵 取 扱								
液 化 石 油 ガ ス 貯 蔵 取 扱		22	12	10			5	49
生 石 灰 貯 蔵 取 扱		1						1
毒 物 貯 蔵 取 扱								
劇 物 貯 蔵 取 扱		1		1		1		3
防 火 対 象 物 点 検 結 果 報 告 書		62	30	33	5	3	6	139
防 災 管 理 定 期 点 検 結 果 報 告 書			1	1				2
本 部 受 付	消 防 用 設 備 等 着 工 届		11	4	1			16
	消 防 用 設 備 等 設 置 届	11	17	5	5		1	39
	消 防 用 設 備 等 特 例 申 請 書	2		3			1	6
	製 造 所 等 設 置 許 可 申 請	2	5				1	8
	製 造 所 等 変 更 許 可 申 請	22	19	15	1	4	15	76
	製 造 所 等 仮 使 用 承 認 申 請	16	14	12	1	4	13	60
	製 造 所 等 完 成 検 査 申 請	25	20	16	1	5	16	83
	危 険 物 規 則 に 関 す る 届 等	108	67	96	11	8	23	313
合 計		1,177	1,161	865	126	176	196	3,701

条 例 届 出 状 況

市町村別 届出種別		龍	牛	稻	利	河	美	合
		ヶ	久	敷	根	内	浦	
		崎	市	市	町	町	村	計
		市						
防火対象物使用開始届		33	53	35	5	3	1	130
炉		2						2
厨房設備								
温風暖房機		1		3				4
ボイラー・給湯湯沸設備		4	4	10		2	4	24
乾燥設備		3		6				9
サウナ設備								
ヒートポンプ冷暖房								
火花を生ずる設備								
放電加工機								
変電設備		9	10	20	1	2	1	43
発電設備		4	8	5	1	2	3	23
蓄電池設備		16	10	10	6	3		45
ネオン管設備								
水素ガスを充填する気球			3					3
火災と紛らわしい行為		52	16	16	15	14	2	115
煙火打ち上げ・仕掛け		20	12	28	13	12	1	86
催物開催		3	5	3	1	1	6	19
水道の断水・減水								
道路工事		141	65	173	24	37	68	508
指定洞道等の届出								
禁止行為の解除								
少量	少量危険物貯蔵取扱	13	4	8		2	3	30
	移動タンク貯蔵取扱	1						1
指定可燃物	可燃性固体類		1	1				2
	石炭・木炭類							
	可燃性液体類		1					1
	合成樹脂類	1	5	5			1	12
	綿花・ぼろ・紙くず等							
合計		303	197	323	66	78	90	1,057

中高層建築物

平成26年3月31日現在

防火対象物の区分 (令別表第一)		階別														計	
		3階	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階			
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1														1
	ロ	公会堂又は集会場	3														3
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの															
	ロ	遊技場又はダンスホール															
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等															
	ニ	カラオケボックス、その他遊興のための個室等															
3	イ	待合、料理店その他これらに類するもの															
	ロ	飲食店	3														3
4		百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	6	1													7
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの	8	4	1					1		1					15
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	205	77	88	27	8	3	1	2	2	3	5	2	4		427
6	イ	病院、診療所又は助産所	16	5	2			2	1								26
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等	7	3													10
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等、児童福祉施設等	1	1													2
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校															
7		小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	76	21	2	2	3	1									105
8		図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの															
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場															
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場															
10		車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る）															
11		神社、寺院、教会その他これらに類するもの	2		1												3
12	イ	工場又は作業場	21	6	4						1						32
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ															
13	イ	自動車車庫又は駐車場	1	1													2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫															
14		倉庫	2		1			1									4
15		前各項に該当しない事業場	64	12	6	4			1								87
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの	60	13	8	8	1	2						1			93
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物	46	11	9	2	2				1						71
17		重要文化財、重要有形民族文化財等															
合 計			522	155	122	43	17	8	2	4	3	3	6	2	4	891	

建築確認事務状況

防火対象物の区分 (令別表第一)		市町村別	龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
		専 用 住 宅	27		42	1	6	2	78
1	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場							
	ロ	公会堂又は集会場	1	3	2				6
2	イ	キャバレー、カフェー、ナイトクラブその他これらに類するもの							
	ロ	遊技場又はダンスホール			1				1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等							
3	ニ	カラオケボックス、その他遊興のための個室等							
	イ	待合、料理店その他これらに類するもの							
4	ロ	飲食店	4	1	1		1		7
	イ	百貨店、マーケット、その他の物品販売業を営む店舗又は展示場	10	7	3				20
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所その他これらに類するもの							
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅		15	1				16
6	イ	病院、診療所又は助産所	1	4					5
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等	2	6	1				9
	ハ	老人デイサービス、軽費老人ホーム、老人福祉センター等、児童福祉施設等	2	7			1		10
	ニ	幼稚園、盲学校、聾学校又は養護学校							
7	小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、高等専門学校、大学、専修学校、各種学校	3	5	1				9	
8	図書館、博物館、美術館その他これらに類するもの								
9	イ	蒸気浴場、熱気浴場その他これらに類する公衆浴場							
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場							
10	車両の停車場又は船舶若しくは航空機の発着場（旅客用に限る）								
11	神社、寺院、教会その他これらに類するもの						2	2	
12	イ	工場又は作業場	4	2	3			2	11
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫又は駐車場			2		1		3
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫							
14	倉庫	6	10	5		2	1	24	
15	前各項に該当しない事業場	10	18	8			5	41	
16	イ	複合用途防火対象物のうち、その一部が(1)項から(4)項まで、(5)項イ、(6)項又は(9)項イに掲げる防火対象物の用途に供されるもの		5					5
	ロ	イに掲げる複合用途防火対象物以外の複合用途防火対象物		1					1
17	重要文化財、重要有形民族文化財等								
合 計			70	84	70	1	10	13	248

広報広聴実施状況

1 広報活動

種 別	実 施 内 容	実 施 件 数
広報巡回・放送等	消防車両による広報巡回	26件
	防災行政無線による広報	15件
広報紙等の配布	各種ポスター・新聞・チラシ等	201件
立て看板等の設置	横断幕・懸垂幕	22件
	火災予防週間立て看板	44件

2 各種講習会・広聴活動

種 別	実 施 内 容	実 施 件 数
各種イベント	消防ひろば	19件
	街頭広報	10件
	防火パレード	7件
各種講習会	避難訓練・消火訓練	469件
	防火講話等	87件
庁舎見学等	庁舎・車両見学	83件
	消防署体験学習	15件
	防火映画上映	11件

民間防火組織一覧

1 幼年消防クラブ

平成26年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	さとう文化学園龍ヶ崎文化幼稚園幼年消防隊	昭和59年11月27日	22	18	40
〃	龍ヶ崎つばめ保育園幼年消防隊	平成15年6月2日	11	11	22
〃	ながと夢保育園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	10	26	36
〃	しらはね保育園幼年消防クラブ	平成23年9月1日	14	12	26
牛久市	うしく文化認定こども園幼年消防隊	昭和59年7月1日	21	16	37
〃	牛久つばめ保育園幼年消防隊	平成14年5月2日	10	17	27
〃	牛久幼稚園幼年消防クラブ	昭和61年9月13日	52	53	105
〃	ひたち野牛久幼稚園幼年消防クラブ	平成15年5月26日	37	42	79
利根町	利根大和幼稚園幼年消防クラブ	昭和59年12月1日	4	9	13
合 計			181	204	385

2 少年消防クラブ

平成26年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員		
			男	女	計
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市城南中学校少年消防クラブ	昭和36年4月1日	3	4	7
〃	龍ヶ崎市愛宕中学校少年消防クラブ	昭和36年8月26日	14	0	14
〃	龍ヶ崎市城西中学校少年消防クラブ	平成7年6月1日	7	7	14
合 計			24	11	35

3 婦人防火クラブ

平成26年4月1日現在

市町村名	クラブ名	結成年月日	構成人員
龍ヶ崎市	龍ヶ崎市婦人防火クラブ連絡協議会 根町・田町・横町地区婦人防火クラブ 新町・米町地区婦人防火クラブ 下町・砂町地区婦人防火クラブ 上町・高砂・直鮎地区婦人防火クラブ 八原地区婦人防火クラブ 馴柴地区婦人防火クラブ 馴馬・川原代地区婦人防火クラブ 北文間地区婦人防火クラブ	平成元年9月27日	300
牛久市	牛久市松ヶ丘婦人消防隊	平成7年7月1日	4
合 計			304

警 防



● 指揮訓練

消防機動力

消防活動に欠かせない消防車両などの消防機械は、水槽付消防ポンプ自動車や救急車のほか、化学消防ポンプ自動車、梯子付消防自動車、救助工作車などの特殊消防自動車、救助艇、その他の車両、トライアルバイクを管内に 87 台配置しています。

<p>化学消防ポンプ自動車</p>  <p>化学消火薬剤 1,200ℓと、水 1,300ℓが積載されており、水だけによる消火が不可能な場合に泡消火剤を放射し消火することができます。車両の上部には放水銃が装備され、大量放水・泡放射が可能となっています。</p>	<p>梯子付消防自動車</p>  <p>中高層建物など高所での消火活動や、人命救助に使用されます。写真は 40m級の車両で、最大で 40m、起立角度は 75° から -10° まで可動し、水難事故等で停車位置よりも低い位置に要救助者がいる場合に有効です。</p>	<p>救助工作車</p>  <p>火災・交通事故・水難事故等の様々な現場において、人命救助活動に使用されます。特に、交通事故などで車両に閉じ込められた人を救助することが多く、クレーン、ウィンチ、油圧救助器具等を装備しています。</p>
<p>資機材搬送車</p>  <p>大規模災害、特殊災害、水難事故等の災害種別に応じて、必要な資機材を現場へ迅速に搬送することができます。写真の車両には、最大で 1,000kg 昇降可能装置が装備されており、少人数で荷物の積み下ろしができます。</p>	<p>水槽付消防ポンプ自動車</p>  <p>火災現場において主力となり、2,000ℓの水を積載し、消火栓や防火水槽を利用することなく、消火活動を行うことができます。CAFS※を使用することで、少ない水での消火活動が可能となります。(一部 CAFS 未装備車有)</p>	<p>消防ポンプ自動車</p>  <p>主に、水槽付消防ポンプ自動車に水を送る中継車として使用されます。小型のため、狭隘地では火災現場へ最接近し、CAFS※と 600ℓの水槽の水を使用し、直ちに消火することができます。(一部 CAFS, 水槽未装備車有)</p>

<p>高規格救急車</p>  <p>救急救命士や救急隊員が、傷病者に対し救急活動を行うための車内空間と、救急救命処置に必要な救急資器材、固定装置、防振架台等を装備し救急処置拡大に対応できる構造になっています。</p>	<p>指揮車</p>  <p>災害現場で指揮を執る「指揮隊」が搭乗し運用します。出場と同時に、現場の詳細、出場隊の状況など多くの情報を取り入れ、的確な指揮命令を下すための資器材、通信施設等を装備しています。</p>	<p>広報車</p>  <p>災害現場における現場広報の支援に加え、防火対象物の査察執行、各種訓練指導、消防水利調査、火災予防週間における広報活動等、多目的に活用する車両です。</p>
<p>救助艇</p>  <p>河川・湖沼にて発生した水難事故等において、迅速な救助及び検索活動を行います。水中探索器を装備しているため、水面からの水中検索にも威力を発揮します。</p>	<p>その他の車両</p>  <p>緊急用車両としての装備は搭載していない一般車両で、防火対象物の査察執行、各種訓練指導等、多目的に活用する車両です。</p>	<p>トライアルバイク</p>  <p>オフロードタイプの軽二輪車（排気量 50 cc 以下）で、地震などの大規模災害時には、道路における通行障害や交通渋滞を避けることができ、迅速な被害調査、状況把握等を行うことができます。</p>

※ **CAFS**とは「Compressed Air Foam System」の略で、日本語に訳すと「圧縮空気泡消火装置」となります。これは水に少量の消火薬剤を加え、そこへ圧縮空気を送り込むことにより発泡させる装置で、水の表面積を広げることで効率良く消火することができます。

消 防 車 両 等 の 配 置 状 況

平成26年4月1日現在

所属	車種別	登録番号	車名等	型式	排気量	年式
消防本部	乗用車	土 33や3129	トヨタ	E-JZS151	2,490	H 9. 7. 8
	指揮車	土 800さ4434	ニッサン	KG-VWMGE24	3,150	H12. 9. 21
	防火広報車	土 300ひ6447	ニッサン	UA-RC24	2,480	H15. 9. 30
	予防査察車	土 331も2013	トヨタ	DAA-ZVW41W	1,790	H25. 9. 20
	予防査察車	土 501ゆ8920	ホンダ	DAA-GP2	1,330	H24.10. 1
	救急救助車	土 480き1774	三菱	GBD-U61V	650	H23.10. 3
	総務車	土 501ら9055	ホンダ	DAA-GP2	1,330	H25. 8. 1
	警防車	土 59ね7904	トヨタ	E-EL51	1,330	H 8. 3. 18
	警防車	土 52つ8837	三菱	E-CB2W	1,460	H11. 3. 31
龍ヶ崎署	化学車	土 88さ2311	イズズ	KC-CVR80K2改	15,200	H 9.12. 3
	救助工作車	土 830さ2010	日野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H22. 2. 22
	水槽付ポンプ車	土 800は 70	三菱	KK-FK61HGX	8,200	H12. 1. 17
	水槽付ポンプ車	土 88さ2437	イズズ	KC-FSR33G4V改	8,220	H11. 1. 18
	普通ポンプ車	土 830す 50	日野	SKG-XZU685M	4,000	H24. 1. 30
	普通ポンプ車	土 800さ2194	イズズ	KK-NKR71GN	4,570	H12. 1. 14
	救急車	土 800す6193	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H19. 2. 15
	救急車	土 800す3226	トヨタ	TC-VCH22S	3,370	H17. 2. 24
	指揮車	土 88す9336	トヨタ	T-GS136V改	1,990	H 6. 6. 24
	査察車	土 480う 155	スバル	LE-TV1	650	H18. 7. 11
	資材搬送車	土 830せ1220	日野	TKG-XZU720M	4,000	H24.10. 29
	資材搬送車	土 430ち 119	トヨタ	ABF-TRY230	1,990	H22. 2. 22
牛久署	梯子車	土 88さ1730	日野	U-PR2FNAF	17,230	H 6.11. 22
	水槽付ポンプ車	土 800は 469	三菱	KK-FK61HGX	8,200	H15.12. 17
	普通ポンプ車	土 800は1018	日野	BDG-GD7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	普通ポンプ車	土 88に9657	イズズ	KC-NKS71GR	4,570	H11. 1. 19
	救急車	土 830た 71	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H22. 3. 25
	救急車	土 830さ1372	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H25.11. 19
	指揮車	土 800さ4215	ニッサン	GF-U30	2,380	H12. 8. 25
	査察車	土 501の1982	マツダ	DBA-DY3W	1,340	H18. 5. 19
	ボートトレーラー	土 800る1083	シーマリントレーラ	—	—	H23. 5. 23
江戸崎署	救助工作車	土 88さ2448	三菱	KC-FK629GZ改	8,200	H11. 2. 15
	水槽付ポンプ車	土 830ら 119	日野	BDG-GX7JGWA改	6,400	H21. 2. 6
	普通ポンプ車	土 830す 54	日野	BDG-XZU378M	4,000	H23. 1. 7
	救急車	土 830さ1262	トヨタ	CBF-TRH226S	2,690	H24.12. 6
	指揮車	土 830さ1482	トヨタ	CBF-TRH200K	1,990	H26. 1. 9
	査察車	土 44り2917	ニッサン	GA-VEW10	1,590	H 9. 9. 30
	非常用救急車	土 800さ7634	トヨタ	GE-VCH22S	3,370	H13.11. 9
	マイクロバス	土 22す3673	トヨタ	U-HDB51	4,160	H 7. 6. 30
	ボートトレーラー	土 800る 487	トレールライト	—	—	H15.10. 29
	ボートトレーラー	土 800る1092	シーマリントレーラ	—	—	H23. 7. 4

所属	車種別	登録番号	車名等	型式	排気量	年式
利根署	水槽付ポンプ車	土 830す1334	日 野	SDG-GD7JGAA改	6,400	H25. 1. 8
	普通ポンプ車	土 88に6424	イ ス ズ	KC-NKS71GR	4,570	H 9.12. 5
	救 急 車	土 830は 119	ニ ッ サ ン	TC-FPWGE50改	3,490	H16. 1.19
	指 揮 車	土 800す 864	ニ ッ サ ン	UA-TC24	1,990	H15. 9. 1
	ボートトレーラー	土 800る1216	シーマリントレーラ	—	—	H25. 8.20
新河分署	化 学 車	土 830さ2012	日 野	LKG-FH1ALAA改	8,860	H24. 2.15
	水槽付ポンプ車	土 88さ2315	イ ス ズ	KC-FSR33G4V改	8,220	H 9.12.12
	普通ポンプ車	土 830さ1457	日 野	TKG-XZU685M	4,000	H26. 2. 7
	救 急 車	土 830つ 66	ニ ッ サ ン	CBF-FPWGE50改	3,490	H22. 2.15
	広 報 車	土 800す6647	ニ ッ サ ン	DBA-Y12	1,490	H20. 1. 9
	資 材 搬 送 車	土 44ね6184	ト ヨ タ	M-YY61	1,990	S62. 2.26
	ボートトレーラー	土 800る1054	シーマリントレーラ	—	—	H22. 8.12
桜東分署	水槽付ポンプ車	土 830さ1441	日 野	SDG-GX7JGAA改	6,400	H26. 1.10
	普通ポンプ車	土 830そ 56	日 野	BDG-XZU378M	4,000	H23. 1. 7
	救 急 車	土 830ゆ 119	ニ ッ サ ン	CBF-FPWGE50改	3,490	H21. 1.15
	広 報 車	土 88せ6375	ニ ッ サ ン	GA-VEW10	1,590	H11. 2.23
	資 材 搬 送 車	土 800す6416	ミ ツ ビ シ	PDG-FE82D	4,890	H19. 7. 6
龍西所	水槽付ポンプ車	土 800は 969	ミ ツ ビ シ	PDG-FL63FX改	7,540	H20. 1.22
	救 急 車	土 830て 64	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H23. 1.21
	広 報 車	土 800さ6655	ニ ッ サ ン	TC-VW11	1,760	H13. 6.21
	非常用救急車	土 88に9647	ト ヨ タ	GB-VCH32S	3,370	H11. 1.14
牛東所	水槽付ポンプ車	土 800は 919	ミ ツ ビ シ	PA-FL63FX改	7,540	H19. 2.21
	救 急 車	土 800す6255	ト ヨ タ	CBF-TRH226S	2,690	H19. 3.14
	広 報 車	土 88せ4288	ト ヨ タ	GA-ET196V改	1,490	H 7. 8.23
	非常用消防車	土 88さ2163	イ ス ズ	KC-FSR33G2V改	8,220	H 8.11.22
美浦所	梯 子 車	土 88さ2156	日 野	KC-FF1JKBA改	7,960	H 8.11. 5
	水槽付ポンプ車	土 88さ2030	イ ス ズ	KC-FSR33G2V	8,220	H 8. 3.18
	救 急 車	土 800さ7635	ト ヨ タ	GE-VCH22S	3,370	H13.11. 9
	広 報 車	土 800す 857	ニ ッ サ ン	UA-WFY11	1,490	H15. 8.29
	ボートトレーラー	土 800る1053	シーマリントレーラ	—	—	H22. 8. 2

主 な 消 防 器 具 等

平成26年4月1現在

	器 具 名	本 部	消防署	分署	出張所	合 計
救 助 器 具	救 助 ボ ー ト		5	3	1	9
	救 助 用 水 上 バ イ ク		1			1
	検 索 用 探 知 機		4		1	5
	エ ン ジ ン カ ッ タ ー		11	4	3	18
	チ ェ ー ン ソ ー		16	4	4	24
	エ ア ー ソ ー		3	1		4
	手 動 式 油 圧 救 助 器 具		5	1	1	7
	油 圧 ス プ レ ッ タ ー		3	1		4
	油 圧 カ ッ タ ー		3	1	1	5
	マ ッ ト 型 エ ア ー ジ ャ ッ キ		3	1		4
	送 排 風 機		4		1	5
	削 岩 機		4			4
	ガ ス 溶 断 機		2			2
	ハ ン マ ー ド リ ル		4			4
	救 命 索 発 射 銃		5		1	6
	地 中 音 響 探 知 機		1			1
	熱 画 像 直 視 装 置		3			3
	夜 間 暗 視 装 置		1			1
	地 震 警 報 器		1			1
	画 像 探 索 機 I 型		1			1
画 像 探 索 機 II 型		1			1	
簡 易 画 像 探 索 機		3			3	
空 気 式 救 助 マ ッ ト		2			2	
可 搬 式 ウ ィ ン チ		8	2	3	13	
保 護 器 具	耐 熱 防 護 服		3	4		7
	耐 刃 防 護 服		22	12	12	46
	耐 電 用 防 護 服		10	3	5	18
	毒 劇 物 防 護 服		9			9
	放 射 線 防 護 服		4			4
	空 気 呼 吸 器		71	27	20	118
測 定 器 具	酸 素 呼 吸 器		5			5
	可 燃 性 ガ ス 測 定 器		6	2		8
救 急 器 具	有 毒 ガ ス 測 定 器		3			3
	放 射 線 測 定 器		12	2	3	17
	ポ ケ ッ ト 線 量 計		24	10	15	49
	パ ル ス オ キ シ メ ー タ ー	1	19	4	8	32
そ の 他	A E D	1	8	4	4	17
	半 自 動 除 細 動 器		6		1	7
	自 動 心 肺 蘇 生 器		1	2		3
	シ ョ ッ ク パ ン ツ		3			3
	輸 液 ポ ン プ	2	4		1	7
	観 察 用 モ ニ タ ー	2	7	2	3	14
	携 帯 用 心 電 計		4		1	5
	人 口 呼 吸 器	2	6	2	2	12
滅 菌 器		1			1	
そ の 他	シ ャ ッ ト ノ ク サ ス		3			3
	発 電 機	3	17	4	4	28
	投 光 器		16	5	5	26
	呼 吸 器 用 高 圧 空 気 圧 縮 機		1			1
	非 常 用 ろ 過 器		3			3

消防隊の主な訓練及び講習会等

火災、救助等の多種多様な災害に対応するためには、車両や資機材等の充実化を図ることが必要ですが、災害による被害を最小限に止めるためには、それらを有効に活用するための訓練が必要です。そこで、年間を通じて各種訓練等を行い、技術の向上に努めています。また安全運転講習会等も実施し、緊急車両による交通事故を未然に防ぐよう努めています。

指揮訓練

この指揮訓練とは、火災現場を想定し3人搭乗の指揮隊を編成、現場の統括、部隊の運用、安全管理、情報収集等に関する訓練で組織活動における指揮隊の位置づけ及び必要性を理解すると共に、指揮隊として必要な基本的活動を身に付けるものとし、活動方針の決定、指示、下命における流れ等を理解する訓練です。



特殊災害対応訓練（BC対応訓練）

この特殊災害訓練は、「B」バイオ（生物剤・細菌・ウイルス）「C」ケミカル（化学剤）を使用したテロ行為等に対応する訓練で、指揮隊による現場の統括、部隊の運用等に関し、危険区域、準危険区域の理解、要救助者に対する除染方法を確認し、知識と技術を身に付け、迅速対応による住民の安全確保、被害の拡大防止を目的とした訓練です。



緊急自動車安全運転講習会

この講習会は、緊急自動車の安全運転に必要な知識や技術の向上を図り、所属の職員全員に指導することで、指導を受けた職員が高度の安全運転技術を習得し、交通事故防止に繋げることを目的としています。また、講師については、自動車安全センター安全運転中央研修所において、消防・救急緊急自動車運転技能者課程を修了した職員が行っています。



震災対応訓練

この震災対応訓練は、管内において震度6強以上の地震に伴い多発する災害及びライフライン等の被害を想定し、大地震に対する防災機関相互の緊密な連携を確立するとともに、危機管理体制の高揚及び防災行動力の向上を図る訓練です。

なお、訓練参加機関は当消防本部を含め、構成6市町村（龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市・利根町・河内町・美浦村）が参加しました。



高度救助隊訓練

当本部では、平成22年7月1日に高度救助隊が発足致しました。

高度救助隊は、専門的な知識・技術を有した隊員と高度救助用資機材等の装備・救助工作車で編成し、より高度な人命救助をはじめ、NBC災害（N：原子力災害・B：生物災害・C：化学災害）などの特殊な災害に即座に対応できるよう常日頃から訓練を行っています。



潜水救助隊訓練

当本部では、利根川・小貝川・霞ヶ浦・牛久沼などで毎年数回発生する水難事故に対応するため、潜水して救助活動を行う潜水救助隊を設けています。

潜水救助隊員は、溺水者救助訓練・救命艇救助訓練・水中検索救助訓練等を行い水難事故対応に万全を期しています。



茨城県消防救助技術大会訓練

毎年6月に行われる茨城県消防救助技術大会は、人命救助のスペシャリストとして活動する救助隊員が、地震・風水害の自然災害や複雑多様化する都市型災害に対応するため、必要とされる高度な救助技術の研鑽と過酷な災害活動に耐えうる強靱な体力と精神力を養成し、日頃鍛えた成果を発表し救助技術の相互の向上を図ることを目的とした大会であります。この大会には、引揚救助・障害突破・ロープブリッジ救出などの救助種目があり、各隊員は全国大会・関東大会を目指し年間を通じ訓練に励んでいます。



水防訓練

この訓練は、台風時期などに河川や湖沼から水害が発生した場合に被害を最小限に止めるよう積土のう工法、繋ぎ縫い工法、月の輪工法、釜段工法などの各水防工法を実施し、水防技術の向上並びに水防機関相互の協力体制の確立を図っています。



総 出 場 状 況

種 別		件 数	車 両 数	延 人 員	
火 災	建 物	40	302	1,049	
	林 野	6	33	118	
	車 両	11	52	181	
	航 空 機				
	船 舶				
	そ の 他	23	80	290	
火 災 合 計		80	467	1,638	
救 助		153	714	2,236	
救 急 支 援		1,193	1,544	5,266	
風 水 害 等		26	32	106	
演 習 訓 練		459	534	1,828	
広 報 活 動 ・ 訓 練 指 導		576	751	2,143	
警 防 調 査		818	830	2,617	
火 災 調 査		100	147	546	
特 別 警 戒		17	22	67	
捜 索		11	16	42	
予 防 査 察		886	938	3,101	
そ の 他	非 火 災	誤 報 ・ 誤 認 等	57	118	426
		い た ず ら	5	10	33
		自 火 報 調 査	18	18	69
		緊 急 通 報 安 否 確 認	7	7	27
		そ の 他	152	270	954
		非 火 災 合 計	239	423	1,509
	危 険 排 除		71	68	277
	各 種 検 査		263	290	938
	各 種 調 査		192	207	647
	蜂 の 巣 駆 除		1	1	3
危 険 物 流 出 事 故		5	4	18	
圏 域 外 応 援 出 場		3	3	23	
そ の 他		881	952	2,650	
そ の 他 の 合 計		1,655	1,948	6,065	
合 計		5,974	7,943	25,655	

※この頁の火災出場件数には、事後覚知による火災(13件)は含まれません。

※救急出動状況については、救急関係に記載しています。

※救助出動欄には、火災以外へ出場した件数、車両数、延人員を記載しています。

所属別火災出場状況

管内別	種別 区別 車両別	建物火災		林野火災		車両火災		その他の火災		計	
		車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員	車両	人員
		台	人	台	人	台	人	台	人	台	人
消防本部	指揮隊車	10	38					1	4	11	42
	資材運搬車										
	警防車										
	その他の車両										
龍ヶ崎署	化学車	3	13			1	5			4	18
	救助工作車	19	74			4	16	1	4	24	94
	水槽付ポンプ車	29	119	7	28	7	30	11	46	54	223
	普通ポンプ車	18	68	6	21	2	7	6	21	32	117
	司令車	13	38	3	10			4	12	20	60
新河分署	救急車	3	10							3	10
	化学車					1	4			1	4
	水槽付ポンプ車	17	60	3	11	3	10	4	13	27	94
	救急車	2	6			1	3			3	9
龍西所	連絡車	3	7							3	7
	水槽付ポンプ車	14	63	4	17	1	4	5	23	24	107
	救急車	5	15			1	3			6	18
牛久署	連絡車	1	3					1	2	2	5
	梯子車	1	4							1	4
	水槽付ポンプ車	14	64					5	23	19	87
	普通ポンプ車	16	57	1	4			5	17	22	78
牛東所	司令車	8	24							8	24
	救急車	7	21							7	21
	水槽付ポンプ車	11	51	1	5	1	4	4	16	17	76
江戸崎署	救急車	1	3			1	3			2	6
	連絡車	1	1							1	1
	救助工作車	14	44			5	16	2	8	21	68
	水槽付ポンプ車	15	55	2	8	4	14	6	23	27	100
	普通ポンプ車	8	26	2	6	3	9	3	10	16	51
	司令車	10	24	2	4	3	8	3	7	18	43
桜東分署	救急車	5	15			1	3			6	18
	その他の車両	1	2					1	1	2	3
	水槽付ポンプ車	13	47	1	4	4	15	5	18	23	84
	普通ポンプ車	4	13	1	3	1	3			6	19
美浦所	救急車			1	3					1	3
	連絡車	6	9	2	2	2	2	1	1	11	14
	梯子車										
	水槽付ポンプ車	8	34			1	5	4	18	13	57
利根署	救急車	1	3							1	3
	連絡車	5	11					4	8	9	19
	水槽付ポンプ車	11	43			2	8	3	10	16	61
	普通ポンプ車	9	28			1	3	2	6	12	37
利根署	救急車										
	司令車	3	4			1	2	1	2	5	8

救助事故種別出動件数及び活動件数

区分	事故種別		火 災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
出動件数	30	2	72	9	3	6	13	1			17	153
活動件数	16		28	7		3	6	1			5	66

救助事故種別救助人員及び車両搬送人員

区分	事故種別		火 災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
救 助 人 員	2		32	2		3	5	1			5	50
搬送車 両等 の内訳	救 急 自 動 車	1		26	1		2	4			4	38
	ヘリコプター			4								4
	消防機関のそ 他 車 両 等											
	消防機関以外 の 車 両 等			1			1					2
	計	1		31	1		3	4			4	44

救助事故種別出動人員及び活動人員

区分	事故種別		火 災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
出 動 人 員	選任救助隊員	60	6	268	29		22	45	5		53	488
	兼任救助隊員	33	4	48	27		3	15			12	142
	消 防 隊 員	611	31	237	81	14	25	32	11		32	1,074
	救 急 隊 員	93	3	302	24	6	32	27	6		39	532
	計	797	44	855	161	20	82	119	22		136	2,236
活 動 人 員	選任救助隊員	59		83	18		11	10	5		14	200
	兼任救助隊員	29		24	5		3	3			4	68
	消 防 隊 員	288		107	78		18	20	11		9	531
	救 急 隊 員	39		108	12		22	15	6		16	218
	計	415		322	113		54	48	22		43	1,017

救助事故種別発生場所別出動件数

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自然災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計	
		建物	建物 以外											
屋内	住居	19					1		6			2	28	
	その他の屋内	10						5	4			2	21	
屋外	道路	高速自動車道												
		その他の道路			62		1					1	64	
	水面	内水面			1	8								9
		外水面				1								1
	山岳				1									1
その他の屋外	1	2	8			1	2	3				11	28	
地下														
その他												1	1	
計		30	2	72		9	3	7	13			17	153	

救助事故種別発生場所別活動件数

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自然災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計	
		建物	建物 以外											
屋内	住居	10							2	1			13	
	その他の屋内	6						1	2			1	10	
屋外	道路	高速自動車道												
		その他の道路			25									25
	水面	内水面			1	6								7
		外水面				1								1
	山岳													
その他の屋外			2				2	2				4	10	
地下														
その他														
計		16		28		7		3	6	1		5	66	

救助事故種別発生場所別救助人員

区分		事故種別		火災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自然災害	機械等 による 事故	建物等 による 事故	ガス及 び酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計	
		建物	建物 以外											
屋内	住居	2							2	1			5	
	その他の屋内							1	1			1	3	
屋外	道路	高速自動車道												
		その他の道路			29									29
	水面	内水面			1	2								3
		外水面												
	山岳													
その他の屋外			2				2	2				4	10	
地下														
その他														
計		2		32		2		3	5	1		5	50	

救助事故種別出動車両台数

区分	事故種別		火 災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
救助工作車	29	2	82	7		7	11	1			14	153
消防ポンプ車	135	7	85	12	3	8	11	1			13	275
はしご車	1		1									2
化学車	2	1										3
指揮車・司令車	43	1		17		3		2				66
救急自動車	31	1	88	28	2	8	9	2			13	182
船 舶				6								6
そ の 他	15		4	7				1				27
計	256	12	260	77	5	26	31	7			40	714

救助事故種別活動車両台数

区分	事故種別		火 災	交通 事故	水難 事故	風水害 等 自 然災害	機械等 に よ る事故	建物等 に よ る事故	ガス及 び 酸 欠事故	破裂 事故	その他 の事故	計
	建物	建物 以外										
救助工作車	15		25	5		3	4	1			4	57
消防ポンプ車	59		36	8		3	7	1			4	118
はしご車	1											1
化学車	2											2
指揮車・司令車	16		1	12		3		2				34
救急自動車	12		36	2		3	6	2			5	66
船 舶				5								5
そ の 他	13			7				1				21
計	118		98	39		12	17	7			13	304

救助隊員の訓練実施状況

訓練種別	区分	実施延回数	実施延人員	実施延時間
体 力 練 成		436	1,149	350
ロープ基本・応用訓練		124	549	173
検 索 ・ 救 助 訓 練		173	737	260
各種救助器具取扱		436	1,696	548
各種救助事象想定訓練		121	640	186
そ の 他 の 訓 練		665	3,245	1,289
計		1,955	8,016	2,806

圏域内市町村別消防水利施設設置状況

平成26年4月1日現在

種別 市町村名	消防水利 現有数	防火水槽			消火栓		その他の 水利 プール 自然水利
		公設	公設耐震 飲料水兼用	私設	公設	私設	
		龍ヶ崎市	920	373	3	49	
牛久市	1,115	398	3	21	693	0	1
稲敷市	1,477	623	4	85	765		11
利根町	410	149	2		259		4
河内町	238	53		4	181		6
美浦村	531	116		73	327	15	1
合 計	4,691	1,712	12	232	2,708	27	31

通信



●消防本部通信指令室

通信・指令の業務

高機能消防指令センターでは、位置情報通知システム、自動出動指定装置、地図検索装置などの通信施設を活用し、119番受付から消防隊・救急隊・救助隊への出場指令、現場活動への支援情報の提供のほか、関係機関への連絡、市民への災害情報提供など一連の業務を迅速かつ確実に行っています。

指令システム

119番通報の受信から出場まで



119通報

災害の通報は、119番通報、消防署所への駆け付け通報、緊急通報システムからの通報、警察などからの通報があります。



通報受付

災害場所を短時間で特定する事が被害の軽減につながることから、位置情報通知システムや地図検索装置を活用しています。

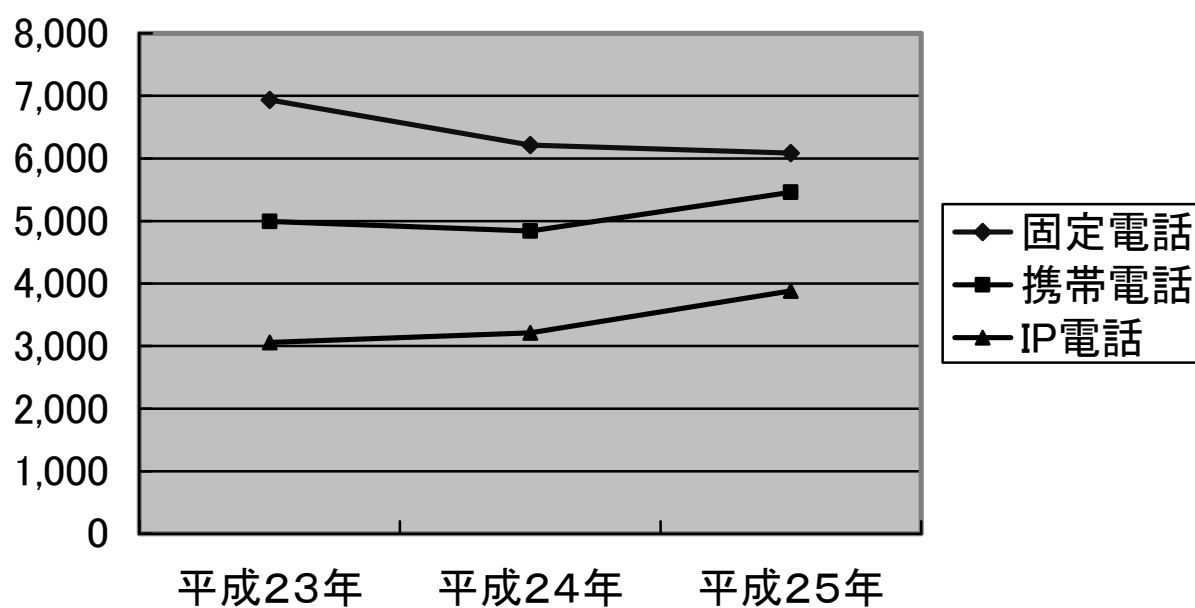


出場指令

自動出動指定装置、出動車両運用管理装置を活用し、災害種別、規模に応じた直近の消防隊などを自動編成し、正確な情報の伝達と的確な出場指令を行います。

1 1 9 番通報電話機別の推移

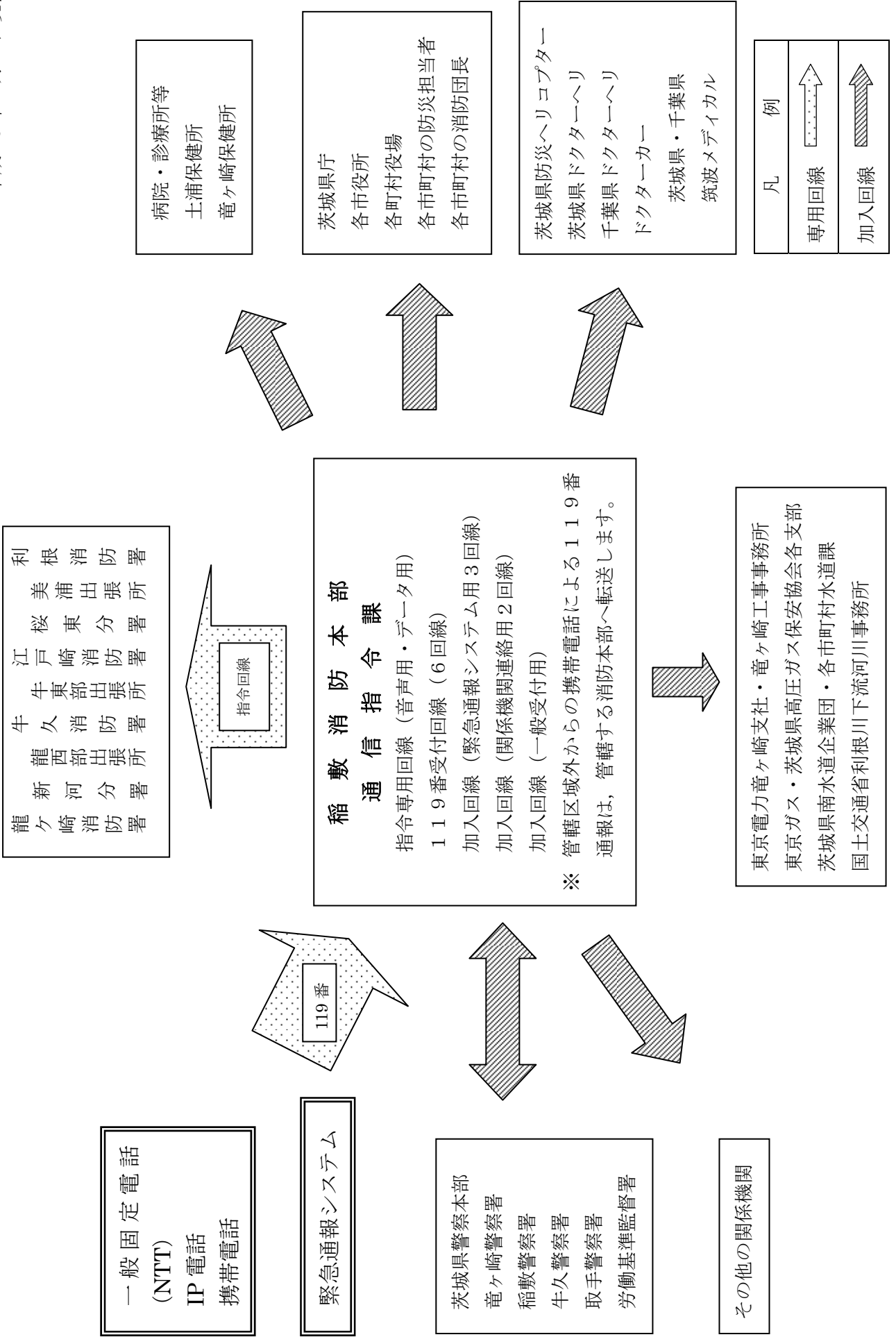
年次 区分	平成23年	平成24年	平成25年
固定電話	6,936	6,215	6,082
携帯電話	4,993	4,840	5,458
IP電話	3,059	3,213	3,882
計	14,988	14,268	15,422



携帯電話からの119番通報は、平成23年中は33.3%、平成24年中は33.9%、平成25年中は35.3%と年々増加の傾向が見られます。

通 信 系 統

平成 26 年 4 月 1 日現在



通 信 施 設 状 況

平成 26 年 4 月 1 日現在

装 置 名		数 量	備 考
指 令 装 置	指 令 台	2 台	分離設置型
	自 動 出 動 指 定 装 置	1 式	
	地 図 検 索 装 置	2 台	
	長 時 間 録 音 装 置	1 台	
	非 常 用 指 令 装 置	1 台	
	指 令 制 御 装 置	1 式	
指 揮 台	指 揮 台	1 台	指令台同機能型
	地 図 等 検 索 装 置	1 台	
表 示 盤	車 両 運 用 表 示 盤	1 面	70 インチ液晶プロジェクタ
	支 援 情 報 表 示 盤	1 面	LED 固定表示方式
	多 目 的 情 報 表 示 装 置	1 面	液晶ディスプレイ 9 面構成
無 線 統 制 台	無 線 統 制 台	1 台	1 2 CH 統制部／個別部 6 CH
	無 線 拡 張 台	1 台	個別部 4 CH
指 令 伝 送 装 置	指 令 情 報 送 信 装 置	1 式	
気 象 情 報 収 集 装 置		1 式	
災 害 情 報 等 自 動 案 内 装 置		1 式	音声合成連動
順 次 指 令 装 置		1 式	音声合成連動， E メール対応
音 声 合 成 装 置		1 式	規則・蓄積併用方式
出 動 車 両 運 用 管 理 装 置		1 式	II 型
シ ス テ ム 監 視 装 置		1 式	
電 源 設 備	無 停 電 電 源 装 置	1 式	5 KVA× 2 系統
	直 流 電 源 装 置	1 式	DC-4 8 V
	非 常 用 発 動 発 電 機	1 式	7 5 KVA
	誘 導 雷 防 止 装 置	1 式	
統 合 型 位 置 情 報 受 信 装 置		1 式	
1 1 9 受 信 F A X		1 式	
無 線 設 備		1 式	基地局装置
消 防 情 報 支 援 シ ス テ ム		1 式	Web サーバ方式
茨 城 県 救 急 医 療 情 報 コ ン ト ロ ー ル 装 置		1 式	茨城県貸与
茨 城 県 防 災 行 政 無 線 装 置		1 式	茨城県貸与
災 害 弱 者 緊 急 通 報 受 信 装 置		1 式	転送機能付
茨 城 県 防 災 情 報 シ ス テ ム 端 末 装 置		1 式	茨城県貸与

119番着信件数

区分	月別												合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
一般回線	638	501	541	464	496	470	501	525	464	522	474	486	6,082
携帯電話	484	447	443	360	427	458	548	505	447	458	428	453	5,458
I P 電話	357	320	321	262	303	290	350	313	335	312	320	399	3,882
月 計	1,479	1,268	1,305	1,086	1,226	1,218	1,399	1,343	1,246	1,292	1,222	1,338	15,422

災害出場指令件数

区分	月別												合計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
火 災	27	29	35	13	13	13	18	6	11	13	14	23	215	
救 急	1,040	825	874	791	826	857	965	930	798	806	867	934	10,513	
救 助	3	3	2		4	1	3		2	8		3	29	
その他	危険物排除	2	3	6	2	3	7	2	4	6	5	7	6	53
	自火報動	5	2		3		3	2	2	3	3	2	7	32
	その他	44	49	32	28	31	37	37	52	47	68	40	36	501
月 計	1,121	911	949	837	877	918	1,027	994	867	903	930	1,009	11,343	

※ 救急指令件数には、救急支援及び救急救助指令を含みます。

無線局一覧表

平成26年4月1日現在

【基地局】

名称	周波数
いなしきしょうぼう	専用波 151.63MHz 救急波 T153.11MHz R149.11MHz 全国波 150.73MHz 県内波 153.53MHz
いなしきしょうぼう うしく	専用波 151.63 MHz 救急波 T153.11MHz R149.11MHz
いなしきしょうぼう えどさき	専用波 151.63 MHz 救急波 T153.11MHz R149.11MHz

【移動局】

所属	名称	積載車両	携帯局名称	備考
消防本部	いなしきしき1	指揮隊車	いなしき101, 102	指揮本部用
	いなしき501			
龍ヶ崎消防署	いなしきかがく1	化学車	いなしききゅうじょ101, 102	指揮本部用
	いなしききゅうじょ1	救助工作車		
	りゅうがさきはんそう1	搬送車	りゅうがさき101, 103, 105	
	りゅうがさき1	1号車		
	りゅうがさき2	2号車	りゅうがさき102	
	りゅうがさき3	3号車	りゅうがさき104, 106 りゅうがさき107	
	りゅうがさき4	4号車		
	りゅうがさききゅうきゅう1	救急車		
	りゅうがさききゅうきゅう3	救急車	指揮隊車	
りゅうがさきしき1	指揮隊車			
いなしき301				
新河分署	いなしきかがく2	化学車	しんかわ101, 102 しんかわ103	指揮本部用
	しんかわ1	1号車		
	しんかわ2	2号車		
	しんかわきゅうきゅう1	救急車		
	しんかわこうほう1	広報車		
いなしき305				
龍ヶ崎西部出張所	りゅうがさき5	1号車	りゅうがさきせいぶ101, 102	
	りゅうがさききゅうきゅう2	救急車		
	りゅうがさきせいぶこうほう1	広報車		
	いなしききゅうきゅう1	救急予備車		

所属	名 称	積載車両	携 帯 局 名 称	備 考
牛久 久 消 防 署	いなしきはしご1 うしく1 うしく2 うしく3 うしくきゅうきゅう1 うしくきゅうきゅう3 うしくしき1 いなしき302	梯子車 1号車 2号車 3号車 救急車 救急車 指揮隊車	いなしきはしご101 うしく101, 102 うしく103 うしく105 いなしきはしご102 うしく104	指揮本部用
牛久 東 部 出 張 所	うしく4 うしくきゅうきゅう2 うしくとうぶこうほう1 いなしき6	1号車 救急車 広報車 予備車	うしくとうぶ101 うしくとうぶ102	
江 戸 崎 消 防 署	いなしききゅうじょ2 えどさき1 えどさき2 えどさききゅうきゅう1 えどさきしき1 いなしききゅうきゅう2 いなしき303	救助工作車 1号車 2号車 救急車 指揮隊車 救急予備車	いなしききゅうじょ201, 202 えどさき103 えどさき102, 104 えどさき106 えどさき105	指揮本部用
桜 東 分 署	おうとうはんそう1 おうとう1 おうとう2 おうとうきゅうきゅう1 おうとうこうほう1 いなしき306	搬送車 1号車 2号車 救急車 広報車	おうとう101, 102 おうとう103, 104	指揮本部用
美 浦 出 張 所	いなしきはしご2 みほ1 みほきゅうきゅう1 みほこうほう1	梯子車 1号車 救急車 広報車	みほ101 みほ102, 103 みほ104	
利 根 消 防 署	とね1 とね2 とねきゅうきゅう1 とねしき1 いなしき304	1号車 2号車 救急車 指揮隊車	とね101, 105 とね102, 104 とね103	指揮本部用

緊急通報システム受信状況

平成 2 5 年 度

市町村別		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
項 目								
緊急 通 シ ス テ ム	加 入 件 数	401	156	219	59	81	67	983
	発 報 累 計	968	400	539	292	140	141	2,480
	取 消 件 数	50	27	27	11	11	4	130
	新 規 件 数	46	12	30	6	7	7	108
救急出場（緊急通報）		46	27	15	6	4	19	117
誤 報（緊急通報）		163	64	166	36	28	43	500
安 否 確 認	消 防 車 出 場	15	2	11	1	3	3	35
	協 力 員 等 出 向	2	0	2	0	0	0	4
電 池 切 れ	通 報（停電含む）	89	52	115	16	13	40	325
	協 力 員 等 出 向 （消防職員含まず）	11	7	13	1	2	2	36
テ ス ト 通 報		626	244	226	234	85	25	1,440
相 談		13	2	7	0	4	8	34
そ の 他 （ 誤 報 内 訳 ）		31	11	10	0	6	6	64

気象警報注意報発令調べ

種別	区分	月別												計
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
特別警報	大雨特別警報(浸水害)													
	大雨特別警報(土砂災害)													
	暴風雨特別警報													
	緊急地震速報(特別警報)													
	その他特別警報													
警報	暴風警報									1	1			2
	大雨警報						1	1	1	1	2			6
	水防警報										1			1
	洪水警報						1	1	1	2	2			7
	大雪警報													
	竜巻警報													
	地震・津波警報													
注意報	強風注意報	8	10	10	11	1	1	1		2	7	3	7	61
	大雨注意報			1	4	2	8	5	9	9	8	1	0	47
	大雪注意報													
	雷注意報	2		3	5	8	9	18	16	7	8	6	4	86
	洪水注意報			1	3	2	8	5	9	10	6	1		45
	乾燥注意報	6	7	4	5	1						2	4	29
	濃霧注意報	2	3	2	0	12	17	14	8	4	8	6		76
	霜注意報			1	12	3					2	19		37
	低温注意報	14	9	1									3	27
	竜巻注意報													
	大雪着雪注意報	1												1
	大雪着氷注意報													
	大雪風雪注意報	1												1
合計		34	29	23	40	29	45	45	44	36	45	38	18	426

※ 緊急地震速報の特別警報は震度6弱以上

※ その他の特別警報内訳 高潮 波浪 暴風雪 大雪 噴火

月別風速・気温・湿度・雨量調

消防本部通信指令課観測

風速 (m/s)

月 別		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最大風速	7 m/s未満	9	5	0	0	0	3	4	4	2	5	10	13
	7 m/s以上 10 m/s未満	6	6	8	4	7	18	16	14	17	8	7	8
	10 m/s以上 15 m/s未満	10	9	14	13	21	7	8	12	9	14	8	5
	15 m/s以上	6	8	9	13	3	2	3	1	2	4	5	5
平均風速		2.3	2.6	3.6	3.8	3.1	2.9	2.9	2.5	2.8	2.9	1.9	2.1

気温 (°C)

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高	13.2	18.1	23.9	22.4	28.3	30.0	36.2	37.9	34.7	30.0	20.8	15.9
最低	-4.5	-6.0	-0.2	2.8	4.7	12.3	17.9	19.3	11.5	7.4	0.4	-3.4
平均	3.1	4.1	10.2	13.2	17.5	20.9	25.1	27.4	23.2	18.2	10.9	5.8

湿度 (%)

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
最高	98.8	98.9	98.8	98.6	98.8	98.6	98.7	98.7	98.6	98.9	98.9	98.6
最低	26.7	26.0	21.1	22.7	25.2	45.7	50.4	46.7	45.2	35.1	35.3	28.8
平均	70.8	69.4	73.0	73.7	79.9	90.3	88.3	84.8	86.6	88.9	79.7	75.3

雨量 (mm)

月 別	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
総雨量	62.5	37.0	41.5	154.0	61.0	110.5	21.0	57.5	142.0	460.0	22.0	47.5

火災



●火災原因調査研修会

火災原因調査研修会

火災原因調査は、起きてしまった火災の原因を突き止めるばかりでなく、類似火災の防止策を講じる目的も有しています。当消防本部では、職員の火災原因調査技術の向上を図るため、研修会を開催し、知識の向上及び人材育成に努めています。平成 25 年度は、管内で発生した特異火災事例や製品火災事例の発表、検討会のほか、火災原因調査の経験の浅い若手職員を対象とした基礎講座を開催しました。

【研修会の様子】



●燃焼器具の見分要領についての説明



●特異火災事例の再現実験



●基礎講座

火災統計上の参考事項

1 火災の定義

「火災」とは、人の意図に反して発生し若しくは拡大し、又は放火により発生して消火の必要がある燃焼現象であって、これを消火するために消火施設又はこれと同程度の効果のあるものの利用を必要とするもの、又は人の意図に反して発生し若しくは拡大した爆発現象をいう。

2 火災の種類

火災は、次の6種に分類する。ただし、火災が2種以上にわたった場合は、原則として焼き損害額の大きなものの種別による。

(1) 建物火災

建物又はその収容物が焼損した火災をいう。

(2) 林野火災

林野、原野又は牧野が焼損した火災をいう。

(3) 車両火災

自動車車両、鉄道車両及び被けん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。

(4) 船舶火災

船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。

(5) 航空機火災

航空機又はその積載物が焼損した火災をいう。

(6) その他の火災

(1)から(5)までに掲げる火災以外の火災(空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷、電柱類等の火災)をいう。

3 火災損害

「火災損害」とは、火災によって受けた直接的な損害をいい、「焼き損害」、「消火損害」、「爆発損害」、「人的損害(火災による死者及び負傷者)」に区分する。「焼き損害」とは、火災によって焼けた物及び熱によって破損した物等の損害をいい、「消火損害」とは、消火活動によって受けた水損、破損、汚損等の損害をいい、「爆発損害」とは、爆発現象の破壊作用によって発生した損害のうち、「焼き損害」、「消火損害」以外の損害をいい、消火のために要した経費、焼跡整理費、火災のための休業による損失等の間接的な損害を除く。

損害額は、り災時における時価により算定することとし、「人的損害」はこれに含めない。

4 焼損の程度

一の建物の焼損程度の区分の基準は、次のとおりである。

(1) 全焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70%以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。

(2) 半焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%以上のもので全焼に該当しないものをいう。

(3) 部分焼

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 20%未満のもの又は建物の収容物のみ焼損したものでぼやに該当しないものをいう。

(4) ぼや

建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損床面積が 1 m²未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の 10%未満であり焼損表面積が 1 m²未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

5 り災世帯

り災世帯については、り災の程度により、次のとおり区分する。

(1) 全損

建物(収容物を含む。以下のこの項において同じ)の火災損害額がり災前の建物の評価額の 70%以上のものをいう。

(2) 半損

建物の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20%以上で、全損に該当しないものをいう。

(3) 小損

建物の火災損害額がり災前の建物の評価額の 20%未満のものをいう。

6 死者・負傷者

「死者」又は「負傷者」とは、火災現場において火災に直接起因して、死亡した者(病死者を除く。)又は負傷した者をいう。この場合消防吏員及び消防団員については、火災を覚知した時より現場を引き揚げるまでの間に死亡した者又は負傷した者をそれぞれ死者または負傷者とする。また、火災により負傷した後 48 時間以内に死亡したものは、火災による死者とする。

7 出火原因

出火原因は、発火源、経過及び着火物の 3 つに区分する。なお、昭和 44 年以降は、発火源については、電気機器に電気冷蔵庫を加え、移動可能なガス道具及び固定したガス設備をそれぞれ都市ガスを用いるものと液化石油ガスを用いるものにと細分するとともに、着火物については、ガス類に液化石油ガスを加えた。

火 災 概 況

項目		区分	平成23年	平成24年	平成25年	前年比
火災件数(件)			86	80	93	13
火災種別	建物(件)		51	51	51	0
	林野(件)		7	4	6	2
	車両(件)		10	8	11	3
	船舶(件)					
	航空機(件)					
	その他(件)		18	17	25	8
焼損棟数	合計(棟)		84	76	80	4
	全焼(棟)		24	19	33	14
	半焼(棟)		12	6	2	△4
	部分焼(棟)		18	19	23	4
	ぼや(棟)		30	32	22	△10
焼損面積	建物(床㎡)		3,125	3,435	3,243	△192
	建物(表㎡)		197	203	404	201
	林野(a)		97	527	62	△465
	車両(台)		37	18	15	△3
罹災世帯数(世帯)			46	51	42	△9
罹災人員(人)			123	165	93	△72
死傷者	死者(人)		2	2	4	2
	負傷者(人)		14	19	6	△13
損害額(千円)			259,805	330,566	242,292	△88,274

市 町 村 別 火 災 概 要

市町村別		龍 ヶ 崎 市	牛 久 市	稲 敷 市	利 根 町	河 内 町	美 浦 村	合 計
種 別								
合 計		31	16	22	7	5	12	93
建 物		15	11	11	4	3	7	51
林 野		5					1	6
車 両		3		5	1	1	1	11
船 舶								
航 空 機								
そ の 他		8	5	6	2	1	3	25
建 物 焼 損 棟 数	合 計	20	19	18	7	9	7	80
	全 焼	5	8	10	5	5		33
	半 焼			1		1		2
	部分焼	7	3	5	2	3	3	23
	ぼ や	8	8	2			4	22
建 物 焼 損 面 積 (㎡)	床面積	340	385	1,811	277	422	8	3,243
	表面積	129	142	53	3	18	59	404
林 野 (a)		61					1	62
車 両 (台)		4	1	6	2	1	1	15
火災損害額 (千円)		37,125	10,019	142,186	5,698	14,806	32,458	242,292
罹 災 状 況	世 帯	9	12	11	4	4	2	42
	人 員	18	22	29	8	11	5	93
死 傷 者	死 者	2			2			4
	負 傷 者		2	1	1		2	6

月別火災種別

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
建物火災	8	8	3	2	4	1	7	1	2	4	5	6	51
林野火災	3		1		1							1	6
車両火災		1			1		1		2	2	3	1	11
船舶火災													
航空機火災													
その他の火災	2		6	4	2		5		3			3	25
合計	13	9	10	6	8	1	13	1	7	6	8	11	93

曜日別火災種別

曜日別 種別	日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	合計
建物火災	4	4	10	5	8	8	11	50
林野火災		1		3		1	1	6
車両火災	3		1		1	4	2	11
船舶火災								
航空機火災								
その他の火災	5	4	3	4	5	1	3	25
合計	12	9	14	12	14	14	17	92

※不明1件(建物火災1件)

時間帯別火災種別

時間帯別 種別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
建物火災		3	1			3	2	2		1	4	5	2		7	2	4	1	4	2	2		2	1	48
林野火災					1				2		1	1							1						6
車両火災	1			1		1	1		1	1		2				1		1		1					11
船舶火災																									
航空機火災																									
その他の火災	1		1	2						1	2	1	3	1	3	1	1	2	2	2	2	1		1	25
合計	2	3	2	3	1	4	3	2	3	3	7	9	5	1	10	4	5	4	7	5	3		2	2	90

※不明3件(建物火災3件)

火災種別出火原因

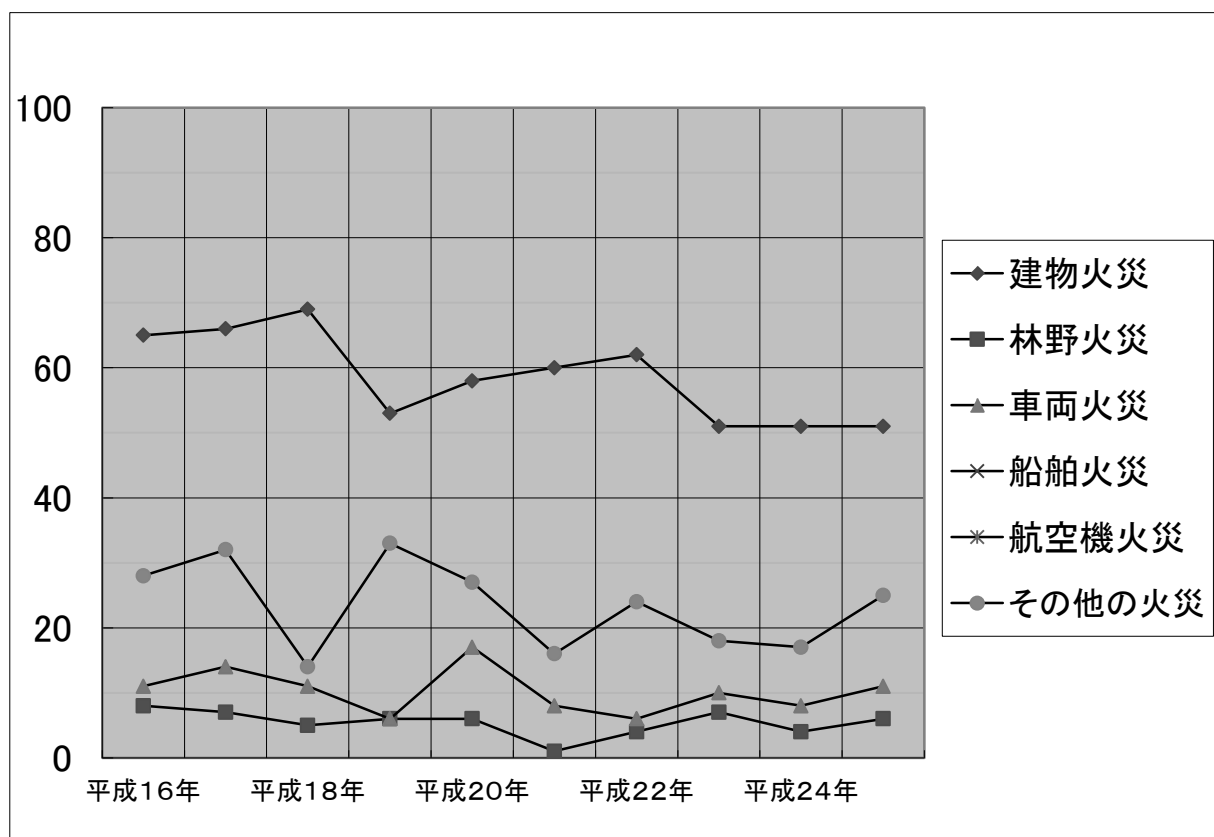
火災種別 出火原因	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空機 火災	その他 火災	合 計
たばこ	5						5
こんろ	2						2
こんろ(天ぷら)	4						4
かまど							
風呂かまど						1	1
炉							
焼却炉							
ストーブ	1						1
こたつ							
ボイラー							
煙突・煙道							
排気管							
電気機器	3						3
電気装置	2						2
電灯・電線等の配線	4		1				5
内燃機関			1				1
配線器具						1	1
火遊び						2	2
マッチ・ライター			1			1	2
たき火	4	1	2			1	8
溶接機・溶断機							
灯火							
衝突の火花			2				2
取灰							
火入れ							
放火	5	2	3			3	13
放火の疑い	3	2				6	11
その他	5					4	9
不明	13	1	1			6	21
合 計	51	6	11			25	93

過去5年間の火災原因状況

順位 年・件数	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
平成25年 総件数 93件	放火 (疑い含む) 24件	たき火 8件	こんろ (天ぷら含む) 6件	たばこ 5件	電灯等の配線 4件
平成24年 総件数 80件	こんろ (天ぷら含む) 11件	放火 (疑い含む) 8件	たき火 5件	たばこ ストーブ 各3件	内燃機関 外3原因 各2件
平成23年 総件数 86件	たき火 14件	放火 (疑い含む) 13件	こんろ (天ぷら含む) 9件	ストーブ 5件	電灯等の配線 4件
平成22年 総件数 96件	放火 (疑い含む) 23件	こんろ (天ぷら含む) 11件	たばこ 7件	電灯・電線等 の配線 7件	たき火 5件
平成21年 総件数 85件	放火 (疑い含む) 13件	たばこ 11件	こんろ (天ぷら含む) 9件	焼却炉 5件	ストーブ 4件

過去 10 年間の火災件数推移

種別 年別	建 物 火 災	林 野 火 災	車 両 火 災	船 舶 火 災	航 空 機 火 災	そ の 他 の 火 災	合 計
平成16年	65	8	11			28	112
平成17年	66	7	14			32	119
平成18年	69	5	11			14	99
平成19年	53	6	6			33	98
平成20年	58	6	17			27	108
平成21年	60	1	8			16	85
平成22年	62	4	6			24	96
平成23年	51	7	10			18	86
平成24年	51	4	8			17	80
平成25年	51	6	11			25	93



救 急



● ドクターヘリ

市町村別救急出場状況(件数)

市町村別		龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	利根町	河内町	美浦村	圏外	合計
火災		22	12	17	7	5	5		68
自然災害		1		2					3
水難事故		1	2	3	1	1	2		10
交通事故		353	357	267	36	37	61	2	1,113
労働災害		35	33	35	5	3	17		128
運動競技		36	30	19			6		91
一般負傷		429	404	286	98	61	88		1,366
加害事故		15	25	10	5	2	5		62
自損行為		33	36	21	2	2	2		96
急病		2,193	1,987	1,527	475	364	553	2	7,101
その他	転院	171	200	103	3	2	49		528
	医師搬送		1						1
	資機材搬送								
	その他	33	13	9	4	18	9		86
計		3,322	3,100	2,299	636	495	797	4	10,653

月別救急出場状況(件数)

月別		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災		7	9	4	4	4	4	8	3	7	7	6	5	68
自然災害											3			3
水難事故		2	2	1		2		1			1		1	10
交通事故		85	77	91	77	106	99	108	98	90	89	106	87	1,113
労働災害		6	11	6	13	6	6	16	24	10	9	12	9	128
運動競技		1	2	7	4	10	9	3	20	12	9	10	4	91
一般負傷		136	91	117	99	136	97	121	106	103	98	126	136	1,366
加害事故		2	6	6	5	5	6	8	9	5	1	6	3	62
自損行為		7	3	11	18	5	11	10	9	6	4	5	7	96
急病		738	581	596	534	525	577	650	622	540	547	561	630	7,101
その他	転院	56	51	38	39	41	47	48	32	40	46	43	47	528
	医師搬送				1									1
	資機材搬送													
	その他	16	8	6	1	5	10	7	9	6	3	4	11	86
計		1,056	841	883	795	845	866	980	932	819	817	879	940	10,653

事故種別年齢区分搬送状況

事故種別 年齢区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
新生児										5	20	25
乳幼児				44		1	119			282	14	460
少年				158		57	68	1	2	164	12	462
成人	4	1	2	736	108	34	286	42	56	2,188	198	3,655
老人	2	1		237	19	2	832	10	11	4,102	282	5,498
計	6	2	2	1,175	127	94	1,305	53	69	6,741	526	10,100

事故種別傷病程度別搬送状況

事故種別 程度区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計
死亡				8			13	1	19	180	1	222
重症			1	32	16	3	59	1	6	566	140	824
中等症	3	1	1	131	34	20	362	9	21	2,505	317	3,404
軽症	3	1		1,003	77	71	869	42	23	3,487	68	5,644
その他				1			2			3		6
計	6	2	2	1,175	127	94	1,305	53	69	6,741	526	10,100

救急隊員の行った応急処置件数調

事故種別	応急処置区分 対象人員	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				被覆	保温	
					うち自動	うち自動	*1	*2		*3	*4					
急病	6741	30	49	55	4	1	221	20	1639	385	2	25	56	5	46	5379
交通事故	1175	27	954	4			9		114	15			3		295	660
一般負傷	1305	90	278	2			20	1	87	30		9	5	2	376	883
その他	879	26	137	10	1		24	1	243	41	2	1	4		105	630
計	10100	173	1418	71	5	1	274	22	2083	471	4	35	68	7	822	7552

事故種別	応急処置区分	在宅療法継続			ツシヨックによる保持する血圧	除細動	静脈路確保(輸液)	応急処置の他	血圧測定	心聴器等の聴取音	聴診器による呼吸音	酸素測定	心電図	うち伝送	薬剤投与
		*A	*B	*C											
急病	79	2	13	63		22	77	6353	6341	6659	6510	4945		17	
交通事故							3	913	1129	1159	1153	279			
一般負傷	5			5		3	5	1138	1206	1276	1274	403		1	
その他	2	1	1			1	9	766	813	839	842	454		1	
計	86	3	14	68		26	94	9170	9489	9933	9779	6081		19	

* 1、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数を内数として記載

* 2、喉頭鏡・鉗子等による異物除去を行った件数を内数として記載

* 3、救急救命士がラリングアルマスク等を使用して気道確保を行った件数を内数として記載

* 4、救急救命士が気管内挿管を行った件数を内数として記載

* A、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

* B、気管切開孔又は気道瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数を内数として記載

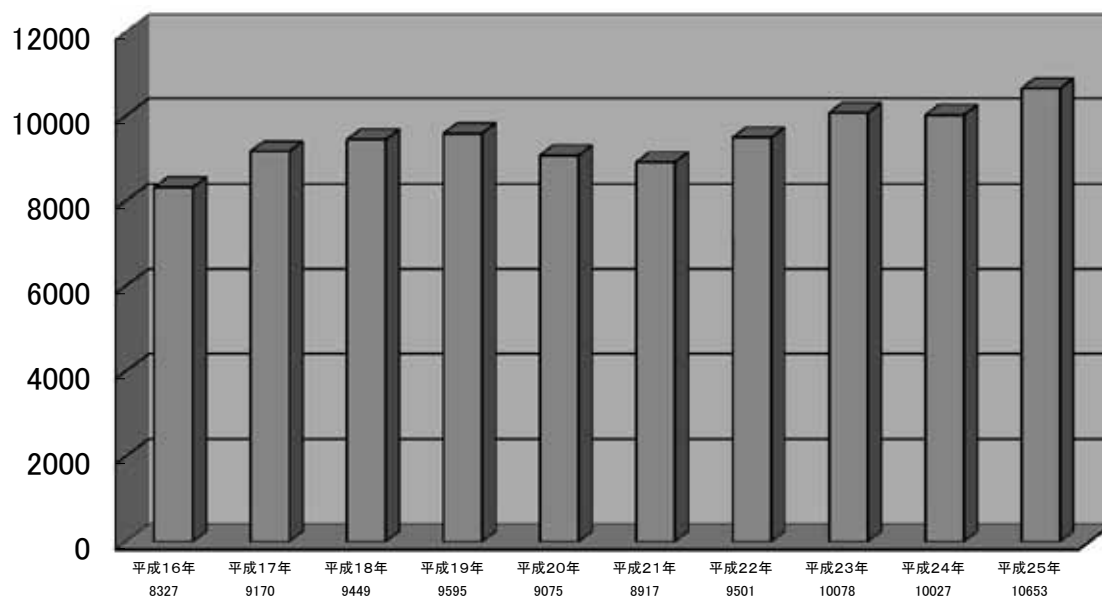
* C、* A・* B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数を内数として記載

市町村別救急発生状況推移

市町村名	年別 区分	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成	平成
		15 年	16 年	17 年	18 年	19 年	20 年	21 年	22 年	23 年	24 年	25 年
龍ヶ崎市	出場件数	2,657	2,567	2,801	3,036	2,928	2,804	2,739	2,847	3,060	3,113	3,322
	搬送件数	2,501	2,392	2,605	2,830	2,734	2,596	2,518	2,633	2,829	2,891	3,105
	搬送人員	2,575	2,456	2,680	2,889	2,796	2,656	2,573	2,684	2,879	2,933	3,155
牛久市	出場件数	2,108	2,270	2,638	2,638	2,758	2,707	2,549	2,778	3,033	3,012	3,100
	搬送件数	1,998	2,143	2,518	2,491	2,586	2,514	2,346	2,599	2,825	2,807	2,886
	搬送人員	2,096	2,219	2,598	2,558	2,660	2,591	2,407	2,652	2,875	2,849	2,933
稲敷市	出場件数	1,904	1,897	1,993	2,111	2,212	1,923	2,036	2,111	2,165	2,102	2,299
	搬送件数	1,802	1,765	1,871	1,969	2,095	1,823	1,912	1,982	2,007	1,961	2,142
	搬送人員	1,918	1,849	1,934	2,007	2,147	1,860	1,981	2,038	2,036	1,996	2,182
利根町	出場件数	542	549	601	587	560	527	573	591	676	663	636
	搬送件数	517	516	578	544	527	497	541	552	620	616	589
	搬送人員	528	525	589	551	530	500	547	559	624	625	596
河内町	出場件数	397	418	428	436	419	399	414	445	454	446	495
	搬送件数	375	394	413	400	388	375	374	422	419	417	456
	搬送人員	389	421	428	414	395	386	384	430	424	426	461
美浦村	出場件数	607	624	708	636	718	712	600	722	685	680	797
	搬送件数	578	582	654	599	673	654	560	667	657	645	757
	搬送人員	597	599	674	605	685	665	568	674	663	655	767
圏外	出場件数	3	2	1	5		3	6	7	5	11	4
	搬送件数	2	2		2		3	4	6	2	9	4
	搬送人員	2	2		4		3	4	6	2	10	6
総合計	出場件数	8,218	8,327	9,170	9,449	9,595	9,075	8,917	9,501	10,078	10,027	10,653
	搬送件数	7,773	7,794	8,639	8,835	9,003	8,462	8,255	8,861	9,359	9,346	9,939
	搬送人員	8,105	8,071	8,903	9,028	9,213	8,661	8,464	9,043	9,503	9,494	10,100

※平成15年から平成17年稲敷市の出場件数は旧江戸崎町、新利根町、桜川村、東町の総合計による。

救急出場件数推移



救命講習実施状況

普通救命講習Ⅰ		普通救命講習Ⅱ		普通救命講習Ⅲ		上級救命講習		その他の講習	
回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数	回数	受講者数
185	2,308	7	45	13	122	4	11	84	2,325

救命入門コース		合計	
回数	受講者数	回数	受講者数
11	130	304	4,941

救急蘇生の状況

救急搬送された心肺機能停止傷病者に関する統計です。

心肺機能停止の症例

平成24年中

全心肺停止 276件		
蘇生施行事案 274件		
心原性 187	目撃あり	60件
	目撃なし	127件
非心原性		87件

平成24年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
60件	1ヶ月生存	
	3件	生存率 5%

心肺機能停止の症例

平成25年中

全心肺停止 268件		
蘇生施行事案 268件		
心原性 174	目撃あり	49件
	目撃なし	125件
非心原性		94件

平成25年中

心原性でかつ心肺機能停止時点の目撃あり		
49件	1ヶ月生存	
	6件	生存率 12%

<非心原性に属するもの>

- ・ 外因による死亡はすべて非心原性とする。
外傷、縊頸、窒息、溺水、薬物中毒等
- ・ 内因による死亡のうち、不全臓器や疾患が特定できるもの。
中枢神経系：脳血管障害、くも膜下出血、脳腫瘍等、呼吸器系：気管支喘息、肺炎等
大血管系：大動脈解離・破裂、肺動脈血栓塞栓症等、消化器系：消化管出血、肝不全等
- ・ 悪性腫瘍の末期状態
- ・ 乳児突然死症候群

<心原性に属するもの>

- ・ 明らかな心疾患が原因のもの
- ・ 非心原性以外のもの
- ・ 老衰は除外診断の心原性とする。
- ・ 浴槽内での心停止は明らかに溺死と判断できる場合を除き
除外診断に基づく心原性とする。

ドクターヘリ及びドクターカーの紹介

<ドクターヘリ> 千葉県ドクターヘリは、茨城県と千葉県の共同利用事業として、平成16年7月1日から当広域圏で運航が開始されました。また、茨城県でも平成22年7月から独自のドクターヘリが運航開始されました。

<ドクターカー> ドクターカーは、平成22年9月1日から筑波メディカルセンター病院保有の乗用車型ドクターカーが当広域圏で運行開始され、翌年の平成23年9月9日から日本医科大学千葉北総病院保有のドクターカーも運行開始されました。

○ 千葉県ドクターヘリ

基地病院 日本医科大学千葉北総病院
(千葉県印西市)



○ 茨城県ドクターヘリ

基地病院 水戸済生会総合病院 (水戸市双葉台)
国立病院機構水戸医療センター(茨城県)
*2病院が交代制で運用する。



平成25年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	利根町	河内町	美浦村	合計
千葉Drヘリ	16	5	20	1	6	12	60回
茨城Drヘリ	0	1	3	0	1	1	6回
合計	16	6	23	1	7	13	66回

○ 北総ドクターカー

基地病院 日本医科大学千葉北総病院



○ 筑波メディカルドクターカー

基地病院 筑波メディカルセンター病院



平成25年の運用数

	龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	利根町	河内町	美浦村	合計
北総Drカー	0	0	1	1	1	0	3回
筑波Drカー	2	3	2	0	0	0	7回
合計	2	3	3	1	1	0	10回

各種救急訓練・事例検討会の紹介

平成 24 年中の全国での救急出動件数は 580 万件を超えて過去最多の記録を更新し、今後も高齢化社会の進展から増加することが予想される中、救急隊員の知識や技術等の質の向上も求められる。その期待に応えるため下記の訓練等を行っているので紹介します。

<救急隊員研修会>

昨年度は、救急業務に関する研修会を 4 回開催しました。



肉片、餅等の食物が気道を塞ぎ呼吸困難の症状を発症した場合は、緊急を要することから、喉頭展開し気道を開通する必要があります。口腔内を確認し異物除去を三人の連携で行う訓練です。

<救急訓練展示会>

救急技術の向上を図るため、審査員が採点し隊員等に改善点をフィードバックします。



交通事故による要救助者を車外救出する訓練です。

<多数傷病者訓練>

列車事故や大型バス事故のような多数傷病者を想定した机上訓練です。



<救急事例検討会>

交通事故の現場にドクターヘリ 2 機を要請した事案の発表です。



救命講習会の紹介

応急手当ボランティア指導員とは、応急手当普及員や応急手当指導員の資格を取得し消防機関の開催する救命講習会等に指導協力を希望する市民の方々です。



応急手当ボランティア指導員の登録者数は現在、68名です。

各事業所や学校等で開催する救命講習会に指導員としてご参加いただいております。

稲敷地区メディカルコントロール協議会の紹介

「稲敷地区メディカルコントロール協議会」（略語：稲敷MC協議会）とは

稲敷地区住民の救命率の向上を図るため、消防本部及び医療に関連する機関がプレホスピタル・ケアに係る諸課題を協議し、稲敷地区における救急業務の円滑な推進を図ることを目的に活動しております。

協議会の活動

・事後検証会

稲敷MC協議会の医師が、CPA（心肺停止）、特異な救急案件について消防で作成した一次検証を医学的な立場から検証し、毎月行う事後検証会で数例を選抜して救急隊員に指導、助言等のフィードバックを行っています。



事後検証会風景

・教育研修会

教育研修会会議において、医師、看護師等の病院関係者及び救急隊員で年間の教育コースを決定し一次救命処置講習(BLS)、二次救命処置講習(ICLS)、病院前外傷処置講習(JPTEC)等を企画立案して技術の向上を図っています。

管内消防団



● 水防訓練

管内消防団の状況

平成 26 年 4 月 1 日現在

区 分		龍ヶ崎市	牛久市	稲敷市	利根町	河内町	美浦村
発足年月日		S29. 3. 20	S29. 4. 1	H17. 3. 22	S30. 1. 1	S38. 4. 1	S41. 3. 14
組 織 体 制	団 長	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名	1 名
	副 団 長	3 名	5 名	17 名	5 名	4 名	4 名
	指 導 員	6 名	0 名	10 名	0 名	11 名	4 名
	分 団 長	11 名	28 名	80 名	16 名	※21 名	10 名
	副 分 団 長	7 名	0 名	80 名	16 名	17 名	0 名
	部 長	33 名	29 名	80 名	15 名	17 名	19 名
	班 長	111 名	105 名	191 名	44 名	76 名	39 名
	団 員	319 名	295 名	918 名	105 名	206 名	225 名
消防団員総数		491 名	463 名	1377 名	202 名	347 名	302 名
車 両 装 備	普通ポンプ車	9 台	9 台	9 台	6 台	0 台	6 台
	小型動力ポンプ	0 台	1 台	8 台	0 台	0 台	0 台
	小型動力積載車	22 台	22 台	70 台	9 台	13 台	14 台
	多機能消防車	1 台	1 台	0 台	0 台	1 台	0 台
	司令車等	3 台	2 台	4 台	1 台	1 台	1 台
年 齢 別 状 況	20 歳未満	1 名	1 名	4 名	0 名	1 名	1 名
	20 歳～25 歳未満	11 名	7 名	59 名	12 名	13 名	7 名
	25 歳～30 歳未満	38 名	28 名	256 名	19 名	34 名	60 名
	30 歳～35 歳未満	78 名	59 名	448 名	23 名	61 名	80 名
	35 歳～40 歳未満	123 名	113 名	336 名	53 名	76 名	95 名
	40 歳～45 歳未満	120 名	96 名	174 名	41 名	88 名	42 名
	45 歳～50 歳未満	74 名	95 名	68 名	23 名	44 名	11 名
	50 歳～55 歳未満	32 名	47 名	22 名	13 名	23 名	3 名
	55 歳～60 歳未満	6 名	12 名	6 名	4 名	6 名	1 名
60 歳以上	8 名	5 名	4 名	14 名	1 名	2 名	
勤 続 年 数 別 状 況	5 年未満	96 名	92 名	358 名	75 名	58 名	81 名
	5 年～10 年未満	94 名	70 名	425 名	39 名	54 名	87 名
	10 年～15 年未満	113 名	89 名	330 名	27 名	79 名	65 名
	15 年～20 年未満	96 名	98 名	177 名	39 名	93 名	52 名
	20 年～25 年未満	59 名	59 名	61 名	15 名	42 名	9 名
	25 年～30 年未満	20 名	42 名	20 名	4 名	17 名	5 名
	30 年以上	13 名	13 名	6 名	3 名	4 名	3 名

※河内町の分団長は、21 名のうち 6 名が指導員を兼務する。

各消防団の事務局

消 防 団 別	事 務 局 の 位 置 等
龍ヶ崎市消防団	龍ヶ崎市 3710 危機管理室 消防防災 G
牛久市消防団	牛久市中央 3 丁目 15 番地 1 市民部交通防災課危機管理消防防災 G
稲敷市消防団	稲敷市須賀津 208 市民生活部生活環境課消防防災係
利根町消防団	利根町大字布川 841 番地 1 総務課 消防交通係
河内町消防団	稲敷郡河内町源清田 1183 河内町役場 総務課
美浦村消防団	稲敷郡美浦村大字受領 1515 総務部総務課 消防防災係

名 称 稲敷消防年報2014

発 行 稲敷地方広域市町村圏事務組合
消 防 本 部
茨城県龍ヶ崎市3571-1
☎0297-64-3743
編 集 消 防 本 部 総 務 課
発行年月 平成 26 年 7 月
印 刷 株 式 会 社 イ セ ブ

